Ⅰ　平成 29 年度事業報告

平成 29 年度については、2 月において入所者及び職員において順次感染性の胃腸炎が発症し(16 名)、対処に苦労した。

又、7 月には 5 名の退所も見られたが、今年度は入退所とも昨年度よりは少なかった。5 月・6 月・7 月の三ヶ月間は入院者も多くみられ、特に 6 月末には 11 名もの入院となった。結果、今年度においても平均入院者 4.8 名と昨年を更に上回り収益にも影響が見られた。

又、引続き地域貢献充実として「なごやよりどころサポート事業」への参加をはじめ、フジミンカフェ(認知症カフェ)を実施し動きだすことが出来た年度であった。

尚、予定通り 1 階 4 人部屋の改修工事は完了し、漆喰を壁に利用し木を利用したとても温かみのある居室となった。

《経営感覚について》

短期入所利用者は居室改修に伴う一時的な利用調整の影響もあり、又 11 月に平均 14.0 の月もあり前年度に比べ 1.7 名減の月平均 15.7 名となった。通所介護においては、前年度一度しかなかった平均 9 名の利用者数の月が今年度は 4 回となり結果平均 10.1 名と前年を下回る結果となった。

一般入所者については、2015 年度から入所基準が要介護 3 以上に見直されたこともあり平均介護度は 3.83 と上昇し疾病等による受診や入院も増えたこともあり平均利用は 79.3 名と前年と同じ、入院者については、5 月・6 月・7 月は平均 8.4 名と高く、特に 6 月においては月末時点で 11 名もの入院者となり平均 4.8 名と全体平均でも前年度より増となった。

《スタッフの確保について》

今年度は 13 名の採用(介護職 10 名看護職 3 名)と 8 名の退職(介護職 7 名看護職 1 名)であった。看護職について回数は減少してきているものの、夜勤に於いては一部引き続き派遣看護職を利用することで対処した。年度末時点において介護職(常勤正職員)は平均勤続年数 9 年であり 10 年以上の介護職員は 12 名となっているが、3 年未満の介護職員は 9 名となっている。尚、平成 30 年 4 月からの常勤機能訓練指導員(PT)の採用及び介護職員の新たな採用も確定し、正職員においては、介護・看護・リハビリ全て計画の人数を確保できた。引続き採用後の定着に向け施設内外の研修充実や職場環境の整備を含めた風通しの良

い運営を行っていくとともに、短時間のスポット的なパート職員の採用に於いては継続していく。

《感染予防と拡大防止について》

今年度においては、2 月中旬から下旬にかけて入所者と職員合わせて 16 名ほどに感染性胃腸炎の症状が見られたため、職員一丸となり対処に努めた。尚、職員及びその家族にはインフルエンザ発症があったため、人員配置には今年度も一部苦慮した。又、今年度は 1 月、2 月の寒い時期の入院者は平均 1.7 名と少なく前年度より大幅減であった。

今後も年間を通して嘔吐物や下痢便等の確実適切な処理方法の研修やマニュアルの見直し・感染防止・除菌消臭に努めて行くと同時に、日々の健康管理をとおして早期発見早期受診を心がけ入院のリスク軽減を図っていく必要がある。

《食の見直しについて》

ご利用者にとっての楽しみである食事については、トラブルが発生した場合委託業者である日本ゼネラルフードと日々改善調整を継続してきたこともあり、大きな問題は見られなかった。

又、「ご家族昼食体験企画」については、3 回企画したものの内 1 回は感染性胃腸炎発症期間に伴い中止することとなり、2 回の実施であった。

《修繕補修について》

大規模な修繕として、1 階全ての 4 人部屋の改修を実施し、防災設備の入替えも実施することが出来た。又、施設内主要箇所に Wi-Fi 環境を設置した。今後も計画的に修繕補修を実施し建物及び設備を維持継続していく。

《その他について》

社会福祉法人における地域貢献の一つとして、今年度認知症カフェ(フジミンカフェ)を 1 回実施することが出来た。又、夏祭りにおいては地域住民へも開放し交流に努めた。なごやよりどころサポート事業へはオブザーバー委員として登録し例会に参加意見等を述べた。

パッケージ型福利厚生代行サービス「WELBOX」利用開始や研修・学習機会確保向上に向け「マナビタ」利用開始にて従業員の福利厚生に努めた。又、地域の伝統行事でもある名古屋市無形民俗文化財「棒の手」を定期開催していくことで地域との繋がりを深めた。次年度以降も法人としてできる地域貢献を積極的に実施していく。

（資料　1）平成29年度　藤美苑の介護実績

上段・・・・・平成29年度
下段・・・・・平成28年度

区分	延入所者数	増減数（人）	1日平均利用者（人）	年度末利用者(人)	平均介護度(度)	1日平均入院者（人）	入所者数（人）	退所者数（人）	死亡者数（人）	年度末入所待機者（人）
特養	27,233	▲189	79.3	80	3.83	4.8	24	24	7	79
	27,422		79.3	80	3.73	4.2	28	28	11	100
短期入所	5724(31)	▲638	15.7		3.2					
	6362(42)		17.4		3.2					
通所介護	2598(予防253)	▲162	10.1		2.23					
	2760(予防330)		10.7		2.19					

区分	ケアプラン	増減数（人）	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
居宅支援	345(予防108)	18	1	107	89	90	27	21	10
	327(予防93)		16	77	108	64	21	22	19

平成29年度入退所・入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所者数(人)	2	2	2	3	3	2	2	3	1	3	1	0	24
退所者数(人)	2	2	3	5	1	2	3	1	3	1	1	0	24
月末在籍者数(人)	80	80	79	77	79	79	78	80	78	80	80	80	
月末入院者数(人)	7	9	11	5	5	3	5	5	3	1	1	2	
月末実質生活者数(人)	73	71	68	72	74	76	73	75	75	79	79	78	

別表7　職員会議等の実施状況（平成29年度）

名称	参加者	開催予定	会議等の主な内容	実施回数	記録の有無
運営会議（感染症対策委員会）	苑長・支援相談部次長 支援相談課長・介護支援専門員・生活相談員 介護部次長・介護課長 居宅支援課長・管理栄養士 看護係長・通所介護課長	第３水曜日 13時30分～	各課における計画進行状況の報告 運営方針・行事予定等の協議及び決定 感染症対策の検討	12回	有
職員会議（防災対策）	全　職　員	第４月曜日 14時～	運営方針、処遇方針等の報告,防災・腰痛対策 各種研修・会議の報告、行事の計画発表、AED講習等	11回	有
処遇検討（リスク管理）会議	苑長・支援相談部次長 ・管理栄養士 支援相談課長・介護支援専門員・看護係長 生活相談員・介護部次長・介護課長	第３水曜日 10時30分～	入所者に関する処遇、リスク管理、入退所の調整等について協議検討する。	12回	
身体拘束廃止委員会	苑長・支援相談部次長・管理栄養士 支援相談課長・生活相談員・介護支援専門員 介護部次長・介護課長 看護係長	第３水曜日 15時～	身体拘束廃止の為の様々な問題を検討する。個別対応検討含む。	12回	有
医療的ケア対策検討委員会	苑長 支援相談部次長 ・管理栄養士 支援相談課長・看護係長 介護部次長・介護課長	第３水曜日 4月・7月・10月・1月 （原則３ヵ月毎） 15時30分～	看護職員と介護職員の連携による医行為実施に向けての体制・手続き・事例分析検討・教育指導法検討・手順の検討と見直し	4回	有
安全衛生委員会	苑長・産業医 総務課長 ・看護課長 支援相談次長・支援相談係長 介護部次長・介護課長	第３水曜日 15時45分～	施設内における安全衛生及び職場環境の改善	12回	有
褥瘡対策委員会	苑長･嘱託医･看護係長･介護部次長　介護課長･相談次長･相談課長 介護支援専門員･管理栄養士	第３水曜日 15時00分～	褥瘡への取組みにおいて、ハイリスク者に対し予防計画及び褥瘡対象者に対して治療計画を作成し早期解決を図る。	12回	有
給食会議	苑長 管理栄養士 支援相談部次長・支援相談課長 介護部次長・介護課長・看護係長	第３水曜日 10時～	給食における新メニュー案の検討 喫茶問題の対応 その他給食及び栄養指導に関する協議	12回	有
ゼネラル給食会議	管理栄養士 総務課長・介護部次長 ゼネラルフード関係者	第３木曜日	給食会議で出された問題等についての連絡・調整、その他新しい取組について協議	12回	有
ケアカンファレンス	介護支援専門員 介護部次長・介護課長 介護係長・看護係長(看護職員) 管理栄養士・支援相談課長	月３回程度	各フロアーごとに入所者個々のケアプランについて討議する。対象者により栄養ケアマネジメントの内容も含む	36回	有
入所検討委員会	苑長・支援相談部次長 管理栄養士・第三者委員 支援相談係長・介護支援専門員	6月･9月･12月･3月 （３ヵ月毎） 第3木曜日	優先入所者名簿の作成、入所待機順位の決定	4回	有

	介護部次長・介護課長・看護係長	その他必要時			
介護課会議	介護部次長 介護課長・係長 ケアリーダー(月1回参加)	月二回	介護課内の連携を図るための協議	19回	有
行事企画委員会	行事企画委員	第１火曜日	当苑における春まつり、夏祭、秋まつり、敬老会(ｱﾄﾗｸｼｮﾝ)、流しそうめん等行事の立案・企画・準備	11回	有
藤美苑便り編集員会	藤美苑便り編集委員	第２水曜日	広報誌“藤美苑だより”の紙面内容の検討・構成・発送	5回	有
外出担当者会議	外出担当介護職員	月一回	季節に合わせてご利用者に外出して頂く為の調査報告、企画を検討する。	12回	有
排泄担当者会議	排泄担当介護職員	月一回	オムツアンダー30%に向けた取組検討及びご利用者に合った紙オムツの検討調査。	8回	有
事故予防検討委員会	介護課長・介護職員・看護職員	第４木曜日	事故に対する予防・対策に努め、常に小さな兆しを発見する目を持ち未然に防ぐ検討をする。	10回	有
看 護 課ミーティング	看護職員	月一回	看護における諸問題の検討や各種決め事、効率のよい業務改善等についての話し合い	12回	有
支援相談部ミーティング	支援相談部(居宅支援課除く)	月一回	支援相談業務に関わる課題の共有や解決を図る為の協議	1回	有
デイサービス会議	デイサービス職員	月一回	デイサービスにおける諸問題の検討や各種決め事等の変更についての話し合い	12回	有
レクリエーション ミーティング	各フロアーレク担当介護職員	月一回	各フロアーでのレクリエーション実施計画の検討及び評価	3回	有
フロアーミーティング	各フロアー介護職員	月一回	フロアースタッフによる業務･フロアー運営に関する問題や解決策を検討する。	24回	有
褥瘡予防ミーティング	担当介護職員	月一回	褥瘡予防に向けた職員の意識向上や処遇の検討	12回	有
認知症ケアミーティング	担当介護職員	月一回	認知症ケアの改善・向上に向けた職員の研修や検討。	6回	有
ケアスタッフミーティング	介護職員	年一回	特養介護職員の連携を図る為の協議･勉強	1回	有
藤美苑を地域に知ってもらう会	支援相談部･介護部･総務部	月一回	地域貢献事業活動の為の方向性や実施に向けての具体的な計画を協議していく会議	12回	有
褥瘡ケア	全介護職員	年二回	褥瘡ケアの基本的な技術と知識の向上を計る	2回	有
感染症勉強会	全職員	年一回	感染症対策の為の知識を高め院内感染の発生と拡大を防ぐ	1回	有
看取り介護準備室	担当職員	月一回（８月開始）	終末期に入ったご利用者様にも安心して利用できる施設体制を整える	7回	有

表2　平成29年度の行事

年月日	内　　容	参　加　者				
		家族	地域住民	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	入所者(ｼｮｰﾄｽﾃｲ含む)	計
4月12日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	23	90
4月15日	春まつり			2	88	90
4月20日	選択食				93	93
4月21日	誕生会				93	93
5月8日	お楽しみ外出(おかげ庵)				2	2
5月10日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	26	31
5月13日	衣類販売				9	9
5月19日	誕生会				88	88
5月20日	選択食				90	90
6月10日	うなぎの日				91	91
6月11日	自由ヶ丘教会ふれあい訪問			14	21	35
6月13日	お楽しみ外出(茶屋が坂公園)				2	2
6月14日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	7	12
6月14日	選択食				90	90
6月16日	誕生会				87	87
6月24日	昼食体験会				7	7
6月28日	お楽しみ外出(おかげ庵)				1	1
6月29日	お楽しみ外出アピタ千代田橋)				1	1
7月4日	お楽しみ外出(大相撲朝稽古見学)				2	2
7月5日	お楽しみ外出(おかげ庵)				2	2
7月8日	流しそうめん				85	85
7月9日	お楽しみ外出(大相撲朝稽古見学)				2	2
7月12日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	13	18
7月15日	お楽しみ外出(大相撲朝稽古見学)				2	2
7月15日	選択食				86	86
7月21日	誕生会				86	86
7月26日	お楽しみ外出アピタ千代田橋)				2	2
8月11日	お楽しみ外出(おかげ庵)				2	2
8月15日	選択食				98	98
8月18日	誕生会				98	98
8月26日	夏祭り				89	89
9月13日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	7	12
9月18日	一泊旅行	2			1	1
9月18日	富士見台学区敬老祝賀会				2	2
9月19日	一泊旅行	2			1	1
9月23日	選択食				93	93
9月23日	昼食体験会				4	4
9月26日	お楽しみ外出(おかげ庵)				2	2
9月29日	誕生会				92	92
10月11日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	17	22
10月14日	衣類販売				7	7
10月20日	お楽しみ外出(ASTY)				2	2
10月21日	秋まつり				89	89
10月23日	選択食				90	90
10月29日	認知症カフェ		2		0	2
10月29日	棒の手　演技				20	20
10月30日	誕生会				90	90
11月8日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	14	19
11月9日	お楽しみ外出(東山動物園)				3	3
11月17日	誕生会				92	92

表2　平成29年度の行事

年月日	内　　容	参　加　者				
		家族	地域住民	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	入所者(ｼｮｰﾄｽﾃｲ含む)	計
11月18日	選択食				92	92
11月22日	お楽しみ外出(おかげ庵)				2	2
11月23日	ピアノ・テルミンコンサート			2	22	24
11月25日	お楽しみ外出(おかげ庵)				1	1
12月9日	うなぎの日				88	88
12月13日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	19	24
12月15日	誕生会				91	91
12月22日	選択食				92	92
12月28日	もちつき				89	89
1月10日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	15	20
1月19日	鍋の日				93	93
1月20日	選択食				95	95
1月26日	誕生会				93	93
2月16日	誕生会				92	92
2月17日	選択食				94	94
3月7日	千種消防退院合同夜間想定避難訓練				90	90
3月14日	あすなろお茶を楽しんで飲む会			5	8	13
3月16日	誕生会				94	94
3月17日	選択食				94	94
3月25日	フジミエンカフェ(認知症カフェ)		17			17
その他	※夏期高校生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ受入(上記、夏祭等への参加も含む) ※あすなろお茶を楽しんで飲む会の入所者参加数は平均値					

職員の研修状況

研修の状況

施設外研修　（平成29年度）

表5　職員の研修状況

研修講習名	日にち	内容	職種	氏名
介護認定審査会委員総会	4月1日	名古屋市介護認定審査委員総会	苑長	小塚敬貴
名介研　平成29年度総会第1回例会	4月12日	「平成30年度4月診療報酬・介護報酬同時改定を大胆予測」 他	居宅支援課長	関口彰一
千種区防火管理者協議会役員会	4月19日	千種区の防火について	苑長	小塚敬貴
社会福祉法改正により必要となる法人事務説明会	4月28日	社会福祉法改正により必要となる法人事務について	総務課長	向井和秀
千種区防火管理者総会	5月17日	千種区の防火について	苑長	小塚敬貴
名古屋市老施協総会	5月18日	行政からの伝達事項他	苑長	小塚敬貴
名古屋市老人ホーム生活相談員会議	5月19日	行政からの伝達事項他	支援相談係長	熊崎洋一
給食施設指導講習会	5月22日	給食施設への指導について他	栄養指導係長	鈴木なつみ
接遇・マナー研修	6月1日	施設職員に求められる接遇・マナーについて	介護職員	村井献二
介護技術研修Ⅰ清拭の入浴介助研修	6月16日	入浴介助について	介護職員	酒井宏昌
介護事業所における災害対策・BOP作成通年講座	6月20日	災害対策・BOPについて	庶務係長	佐藤正樹
名介研　平成29年度総会第2回例会	6月21日	対人援助におけるスーパービジョンについて　他	居宅支援課長	関口彰一
新任職員基礎研修	6月30日	新人介護職員に対する基礎的な研修	介護職員	竹長克哉
第1回介護福祉士実習指導者講習会	7月1日	介護福祉士養成施設の指導担当者に対する研修	介護課長	矢田　博
平成29年度認知症介護研究研修センター　3センター合同研究報告会	7月3日	介護研究研修センターの研究報告会	介護次長	小塚　敦
雇用管理改善セミナー	7月4日	雇用管理改善について	総務課長	向井和秀
名古屋市社会福祉協議会社会貢献推進委員会	7月4日	社会貢献推進について	苑長	小塚敬貴
第29回防火管理者協議会講演会	7月6日	防火に関する講演会	庶務係長	佐藤正樹
名古屋市老人ホーム運動会会場下見	7月6日	名古屋市老人ホームの合同運動会の担当者による会場下見	支援相談係長	熊崎洋一
第1回介護福祉士実習指導者講習会	7月9日	介護福祉士養成施設の指導担当者に対する研修	介護課長	矢田　博
平成29年　社会福祉法人集団指導	7月12日	社会福祉法人集団指導	総務課長	向井和秀
看取り期に望まれる実際のケア	7月16日	看取り期に看護職員に求められるケアについて	看護課長	石原忠勝
「排泄講座」気持ちよい排泄ケアのすすめ	7月22日	排泄ケアに関する研修	介護職員	佐野美貴子
第1回介護福祉士実習指導者講習会	7月30日	介護福祉士養成施設の指導担当者に対する研修	介護課長	矢田　博
労務・安全衛生講習会	8月8日	労務・安全衛生講習会	総務課長	向井和秀
名古屋市老施協総会	8月9日	行政からの伝達事項他	苑長	小塚敬貴
名古屋市老人ホーム生活相談員会議	8月10日	行政からの伝達事項他	支援相談係長	熊崎洋一
介護サービス情報公表対応研修	8月17日	介護サービス情報公表についての研修	介護課長	矢田　博
第1回介護福祉士実習指導者講習会	8月19日	介護福祉士養成施設の指導担当者に対する研修	介護課長	矢田　博
介護事業所における災害対策・BOP作成通年講座	8月22日	災害対策・BOPについて	庶務係長	佐藤正樹
介護保険指定事業者講習会	8月28日	介護保険指定事業者の集団講習会	通所介護課長	冨永年男

介護保険指定事業者講習会	8月28日	介護保険指定事業者の集団講習会	支援相談係長	熊崎洋一
介護保険指定事業者講習会	8月28日	介護保険指定事業者の集団講習会	居宅支援課長	関口彰一
千種区介護保険事業者連絡会　第二回連絡会	9月6日	千種区介護保険事業者連絡会	居宅支援課長	関口彰一
感情マネジメント講座	9月12日	施設職員の感情コントロールについて	支援相談係長	熊崎洋一
薬学基礎知識研修	9月12日	介護職員が知っておくべき薬の基礎知識について	介護職員	中村幸花
名介研　平成29年度第3回例会	9月12日	介護予防・日常生活支援総合事業の動向について　他	居宅支援課長	関口彰一
介護施設でのターミナル期の意思決定支援と看取りケアセミナー	10月1日	ターミナル期の意思決定支援と看取りケア	介護次長	小塚　敦
名古屋市老人ホーム運動会(運営スタッフ)	10月6日	名古屋市老人ホーム運動会の運営	支援相談係長	熊崎洋一
名古屋市老施協総会	10月11日	行政からの伝達事項他	苑長	小塚敬貴
名古屋市認定調査員研修(現任研修)	10月17日	介護認定調査員の現任研修	居宅支援課長	関口彰一
名古屋市認定調査員研修(現任研修)	10月17日	介護認定調査員の現任研修	介護支援専門員	竹内夕黄
全国老人福祉施設研究会議　高知会議	10月17日	講演会、分科会	介護1係長	向郷邦子
全国老人福祉施設研究会議　高知会議	10月17日	講演会、分科会	介護職員	中村幸花
全国老人福祉施設研究会議　高知会議	10月18日	講演会、分科会	介護1係長	向郷邦子
全国老人福祉施設研究会議　高知会議	10月18日	講演会、分科会	介護職員	中村幸花
名介研　特別例会	10月18日	対人援助におけるスーパービジョンについて　他	居宅支援課長	関口彰一
千種区防災講演会	10月19日	千種区の防災について	庶務係長	佐藤正樹
千種区ケアマネサロン「MSWとの交流会」	10月20日	MSWとの交流会	居宅支援課長	関口彰一
千種区防火管理者協議会	10月20日	千種区の防災について	苑長	小塚敬貴
名古屋市社会福祉協議会社会貢献推進委員会	10月24日	社会貢献推進について	苑長	小塚敬貴
ターミナルケア研修	10月27日	介護職員のターミナルケアについて	介護2係長	松尾孝幸
東海北陸ブロックカントリーミーティング	11月1日	講演会、グループワーク他	介護職員	村井献二
東海北陸ブロックカントリーミーティング	11月1日	講演会、グループワーク他	介護職員	酒井宏昌
東海北陸ブロックカントリーミーティング	11月2日	講演会、グループワーク他	介護職員	村井献二
東海北陸ブロックカントリーミーティング	11月2日	講演会、グループワーク他	介護職員	酒井宏昌
介護保険施設・事業所で虐待を発生させない介護サービスの質向上の具体策	11月12日	虐待を発生させない介護サービスの質向上の具体策	介護2係長	高木雄介
介護保険施設・事業所で虐待を発生させない介護サービスの質向上の具体策	11月12日	虐待を発生させない介護サービスの質向上の具体策	介護3係長	田近紘子
対人援助技術基礎研修	11月13日	福祉施設職員の対人援助技術について	介護職員	濵口貴大
口腔ケア研修	11月16日	口腔ケアについて	介護職員	上田美佳
名古屋市介護保険認定審査会委員研修	11月19日	介護認定審査課員委員研修	苑長	小塚敬貴
介護職員意見交換研修会	11月21日	カフェ方式を用いた介護職員の交流会	介護3係長	吉田正和
助成金セミナー	11月22日	助成金について	総務課長	向井和秀
社会福祉法改正対応セミナー	11月29日	法改正への対応について	苑長	小塚敬貴
リーダーの為の組織改革!医療福祉現場におけるコーチング　～アドラー心理学に基づく実践コミュニケーション術～	12月1日	コーチングについて	ケアリーダー	手塚　正哉
認知症の「食べてくれない」を解決するケア	12月2日	認知症の利用者への食事ケアについて	介護3係長	吉田正和
介護事業所の為のチームワーク向上研修	12月7日	チームワーク向上について	介護職員	村井献二
名古屋市老人ホーム生活相談員会議	12月18日	行政からの伝達事項他	支援相談係長	熊崎洋一
千種社協評議員会	12月20日	評議員会	苑長	小塚敬貴
臨床死生学/死別から共存への心理学	1月13日	看取りケアに必要な心理学研修	介護次長	小塚　敦

褥瘡講座	1月13日	褥瘡ケアについて	介護1係長	向郷邦子
生活相談員研修会	1月15日	生活相談員に求められる役割について他	支援相談係長	熊崎洋一
生活相談員研修会	1月15日	生活相談員に求められる役割について他	介護課長	松田俊哉
介護報酬改定戦略セミナー	1月24日	介護報酬改定に向けて	苑長	小塚敬貴
介護リーダー向け接遇マナー指導セミナー	1月25日	接遇マナーについて	介護職員	竹長克哉
名介研　平成29年度　第4回例会	1月29日	介護報酬改定議論を振り返り、介護分野の将来を展望する	居宅支援課長	関口彰一
認知症ケアが上達する薬の知識	1月31日	認知症ケアに係わる薬の基礎知識	介護職員	中村典久
廃棄物管理責任者講習会	2月1日	廃棄物管理責任者に対する研修	庶務係長	佐藤正樹
給食施設指導講習会	2月1日	給食施設への指導について他	栄養指導係長	鈴木なつみ
名古屋市老人ホーム施設長会議	2月2日	老施協からの伝達事項　他	支援相談部次長	堤　清志
県社協　施設長・管理者研修	2月5日	施設長・管理者に対する研修	苑長	小塚敬貴
スーパービジョン研修（中堅職員研修②）	2月13日	スーパービジョンについて	ケアリーダー	手塚　正哉
スーパービジョン研修（中堅職員研修②）	2月14日	スーパービジョンについて	ケアリーダー	手塚　正哉
名古屋市社会福祉協議会社会貢献推進委員会	2月14日	社会貢献推進について	苑長	小塚敬貴
スーパービジョン研修（中堅職員研修②）	2月20日	スーパービジョンについて	ケアリーダー	手塚　正哉
給食施設指導講習会	2月26日	給食施設への指導について他	栄養指導係長	鈴木なつみ
名古屋市老施協デイサービスセンター施設長会	2月26日	行政からの伝達事項他	通所介護課長	冨永年男
千種区の認知症カフェを知ろう（認知症カフェ交流会）	3月1日	千種区の認知症カフェ運営者との交流会	居宅支援課長	関口彰一
千種区の認知症カフェを知ろう（認知症カフェ交流会）	3月1日	千種区の認知症カフェ運営者との交流会	介護課長	矢田　博
介護保険指定事業者講習会	3月6日	介護保険指定事業者の集団講習会(制度改定に向けて)	通所介護課長	冨永年男
介護保険指定事業者講習会	3月6日	介護保険指定事業者の集団講習会(制度改定に向けて)	支援相談係長	熊崎洋一
介護保険指定事業者講習会	3月6日	介護保険指定事業者の集団講習会(制度改定に向けて)	支援相談部次長	堤　清志
介護保険指定事業者講習会	3月6日	介護保険指定事業者の集団講習会(制度改定に向けて)	居宅支援課長	関口彰一
平成29年度経営戦略セミナー	3月7・8日	介護報酬改定における今後の展開	苑長	小塚敬貴
名介研　第5回例会	3月9日	平成30年度介護報酬改定の解説について	居宅支援課長	関口彰一
名古屋市老施協総会	3月15日	名古屋市老施協の総会	支援相談部次長	堤　清志
プロのターミナルケアⅡ	3月17日	ターミナルケアに関する　講演、事例紹介　他	支援相談係長	熊崎洋一
プロのターミナルケアⅡ	3月17日	ターミナルケアに関する　講演、事例紹介　他	支援相談部次長	堤　清志
名古屋市老人ホーム生活相談員会議	3月19日	行政からの伝達事項他	支援相談係長	熊崎洋一
名古屋市介護保険課と通所系事業所との情報交換会	3月22日	名古屋市介護保険課と通所系事業所との情報交換会	通所介護課長	冨永年男
ターミナルケア基礎研修	3月29日	ターミナルケアについて講演　他	支援相談係長	熊崎洋一
ターミナルケア基礎研修	3月29日	ターミナルケアについて講演　他	介護職員	松原さおり

Ⅱ　部門別報告

1　支援相談部

（1）一般入所者

＜入所待機者について＞

『名古屋市特別養護老人ホーム優先入所に関する指針』に基づき、３ヶ月ごとの入所検討委員会を４回実施した。

また、名古屋市特別養護老人ホーム入所待機者調査（依頼）については、待機者（平成１５年1月1日～３０年４月１日）のなかで　個人情報の第三者提供について同意を得られている者１３２８名　同意を得られていない者８０名を報告した。

入所待機者で申込み後、介護認定有効期間が終了しているにもかかわらず、変更届を出しておられない方、前任者の状況確認の日付が古い方について電話調査を行い、更新を依頼。その中で電話をしてもつながらない３名については、何らか返信頂けない場合は保留扱いとし、１年後に取り下げさせて頂く旨記載した郵便物を送付し、６月の入所検討委員会で報告している。

＜要介護度の状況について＞

平均介護度は３．９であり、前年度と比べて０．１上昇している。

＜重度化対応＞

２９年度の胃婁増設者の新規入所者は１件であった。尚、胃瘻増設後の退院については２９年度では４件の受け入れをしている。

平成３０年度の看取り対応の準備として、急変時の延命処置について、また経口摂取が出来なくなった場合の対応について新入所者は入所契約時に平成29年度４月時点で既に入所していた方については相談員が面談時に折りをみてお話しし意向を書面にて確認している。

＜入退所の状況について＞

年度内の退所者は２４名。退所理由は、死亡が７名で昨年より4名減、長期入院が１７名で昨年より３名増となった。年度当初は入退所頻度が昨年よりも多位状況であったが、年度末には落ちついた事もあり最終的には退所者数は１名減少している。

入所者の平均在所期間は２年１０ヶ月で、最高は女性で13年である。

＜稼働について＞
　在宅介護中や病院入院中で入所申込みをしたご家族様には、ショートステイ利用や在宅サービスの紹介を行い状況により担当ケアマネジャーご相談頂くようにお勧めした。一般入所の実情調査について仮にショートステイの利用を希望された場合でも、資料を共有する事でスムーズな利用が出来るように対応した。
　退所後の空床日数を減らす事を意識して、常に新規入所者は基本一週間以内に藤美苑に入所して頂けるよう心がけた。
　入院者に対しては、看護課や入院中の病院ケースワーカーとの連携を密に図り、前もって病院へ実情調査、電話調査により状態把握に努め、長期入院者の受入可否の把握をし、ケースワーカー及びご家族と相談にて退所後の受け入れ先確保対応に努めた。

＜感染症対策＞
○インフルエンザ
　１１月、風邪などの施設内の感染予防のため、ご家族様へ面会時のマスク着用、手の消毒の協力を呼びかけた。
　うがい、手洗いによる職員の感染予防の他、施設内の空気清浄機（プラズマクラスター）の設置、次亜塩素酸水の超音波噴霧による空気除菌による環境整備による予防を継続して行った。
　また例年同様１１月中旬～１２月上旬にかけて季節性インフルエンザの予防接種を実施した。
　平成３０年１月１５日に当時１階の他床室でショートステイを利用していた方がインフルエンザ発症し、同月１９日まで隔離対応を行った。幸いこの時は他利用者へは感染する事なく対応終了している。
　しかし、２月１日、３階で他床室を利用していた入所者がインフルエンザを発症しそのまま入院。翌日２日に他利用者もインフルエンザ発症した為、３階フロアーごと隔離対応とした。３日に入所者１名、６日にショートステイ利用者１名がかかりつけ医受診時にインフルエンザの診断を受けている。その後は発症者なく、９日に隔離対応を終了している。

○感染性胃腸炎
　例年同様、身元引受人に冬季期間に限りご面会時へご家庭で調理された差し入れの禁止を呼びかけた。
　平成３０年２月１５日３階の利用者で下痢・嘔吐症状の方が２名、職員も１名発症。その後も嘔吐症状の方がおられた為、フロアーごと隔離対応を行う。ノロウイルスの検査実施するもノロウイルスは陰性の判定で、２月２６日に対応終了している。
○高齢者肺炎球菌予防接種
　平成２２年１０月より名古屋市の助成が開始されたのを受け、新入所の方への周知に努めた。

＜レクリエーション＞

【衣類販売】

入所者対象の衣類訪問販売を、春夏、秋冬の２回、５月、１０月に２Ｆ食堂で開催した。今年度も販売は「おしゃれセンターうらしま」に依頼した。衣類の素材も良く、値段も手頃で、商品へのニーズにもしっかりと答えていただき、ご利用者様からの評判も良かった。無料の商品の名入れサービスも好評である

＜家族交流会＞

【食事体験企画】

普段生活しているご利用者様が普段どのような食事を召し上がっているのかご家族様に体験して頂く。また施設サービスについてもご意見・ご要望をお伺いし、ご家族とのよい関係を構築していくため年３回の実施を計画した。

今年度もご利用者様とご家族様が一緒に食事を楽しんで頂く形で企画させて頂き、ご家族様からは好評をいただいた。第３回は行事食の鍋の日（１月２月）と開催日程を合わせて、開催日を例年より１ヶ月遅くして準備していたが施設内で感染症が流行した事もあり中止となっている。

＜その他＞

個人情報の保護の観点から、入所者の写真を利用させて頂く範囲について身元引受人に書面にて意向確認を行った。①ホームページ等ウェブサイトへの掲載、②機関紙（藤美苑便り）への掲載、③施設内の展示の大きく３つに分けて意向を確認した。

(2)ショートスティ

＜関連業務及び苦情への対応＞

ご利用者やそのご家族様が藤美苑を継続して利用して頂けるように質の良いサービスの提供の実施する事ができた。

受け入れ時には介護部・看護部にてご本人様の心身状態をご利用者様とご家族様に確認・相談を行い、個々の状況に合ったプランを立てる事ができた。

ご利用中に転倒等の事故で施設対応で受診を行ったケースが数件あった。事故原因・経緯・その後の処遇をご本人様・ご家族様に誠心誠意をもって説明を行う事に心がけた。

ご利用者様またはそのご家族様からサービスについて苦情があった場合には、迅速かつ適切な対応を心がけた。また苦情の原因になる事実が確認されれば、苦情として発生する前に事前に各課責任者に相談を行い、出来るだけ時間を置かずにご自宅に訪問して現状確認や利用中の状況説明をお伝えするなどトラブルを未然に防ぐように働きかけた。

新規利用者様においては、ご利用後の様子をご家族様・担当ケアマネジャーにお聞きする事でサービス提供に対する評価・要望をお聞きして、次回ご利用時によりよいサービス提供が行えるよう取り組んだ。

今年度はご家族様から直接苦情をお聞きする事はなかったが、退所時の忘れ物や送迎時間の連絡不足でご家族様にご迷惑をお掛けした。

各部署と情報共有・連携をとって、苦情にならないようサービス提供が行えるよう取り組んでいきたい。

ショートステイのご利用者は入退所のサイクルが早いため、ご利用者の状態把握が的確に行えるよう継続して努力した。利用中に変化があればその都度ご家族に連絡をして、処遇の見直しを提案･相談した。ご利用者の退所時には、ご利用中の様子をカードで手渡しする事等でご家族様がご利用中の様子を把握して頂けるように努める事ができた。

また、利用中に不調の方やいつもと様子が異なる状態が見受けられた時は退所後の様子を電話で確認する事で次回の利用時に各部署・ご家族と情報を共有でき、適切なサービス提供へと繋げる事ができた。

担当ケアマネジャーには新規ご利用時の状態報告の他、ＡＤＬに変化が見られるご利用者に関しても報告し、情報交換を充分に行い、ご利用者に対するサービス向上に役立てる事ができた。

＜稼働率増加対策＞

〇送迎について

入退時の送迎の他にも必要に応じて、退院からの入所時、受診時の送迎を臨機応変に実施。出来るだけニーズに応えられるよう取り組めた。

〇受け入れについて

介護職員の受け入れ体制も充実してきた事もあり、依頼から数日以内で受け入れを行うなど緊急の受入れにも積極的に対応する事ができた。

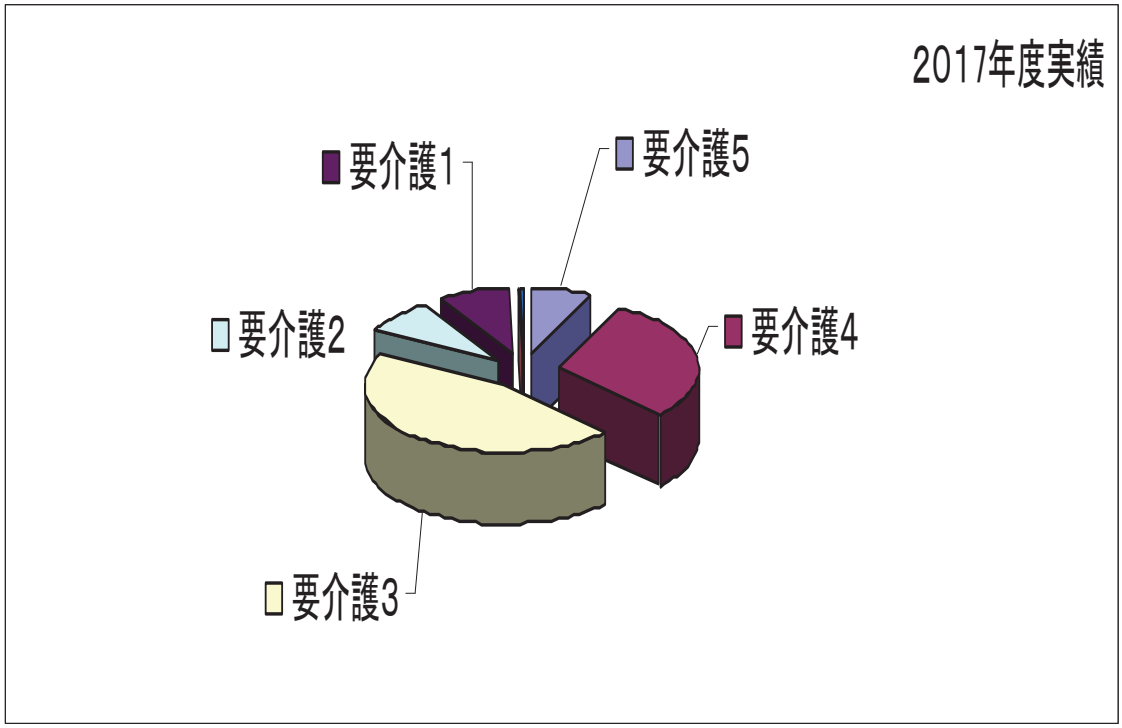
また、新規ご利用者様の状態によっては介護職員または看護職員が事前面談に同行する事で、ご利用時に適切なサービス提供が行えるよう取り組めた。
（新規利用者５０名中５名が緊急利用）

今年は以前に増して病院からの利用問い合わせが多かった。
入院中で在宅復帰が困難な方が、退院からそのままショートステイ利用されるケースが増えている。
（新規利用者５０名中６名が病院より入所）
緊急時の受け入れ対応する事でケアマネージャー・ご家族の信頼を得ることに繋がるため、今後も利用者・家族のニーズに応えられるように体制を整えていく。

＜利用者の特徴＞

平成２９年度の新規契約者数は５０名と昨年度と比べて増加した。（昨年は３５名）介護度別利用者人数は、昨年同様に要介護度３のご利用者が１番多く、2番目に多いのは要介護４となる。要介護度３は昨年より 554 名減も要介護度４は 176 名増となっている。
その結果、今年度の平均介護度は 3.2 となり前年度の 3.2 と同様。
月別のご利用者数は別表のとおりで、１日平均は昨年の 17.4 人から 15.7 人と 1．７人減少している。
延べ利用者人数も 5724 人で昨年の 6362 人より 638 人減少となった。
稼働率減の要因として、長期利用者・定期利用者の体調不良等によるキャンセルが続いた事、１F 多床室の居室改修のため、ショートステイが考えられる。
また、昨年は６名の長期利用者が特養入所されたが、うち２名の特養入所後の、空床期間が１ヶ月近くあった事の影響も大きいと思われる。
ケアマネジャーへのキャンセルによる空床案内・連絡を積極的に行っていきたい。

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	33	34	35	40	40	38	13	15	35	27	49	31	390
4	177	194	168	124	145	145	109	108	132	140	126	170	1738
3	200	209	239	201	249	235	246	233	229	192	188	176	2597
2	31	39	27	48	37	44	53	46	38	45	58	40	506
1	54	50	50	47	53	45	37	18	30	18	27	33	462
経過的要介護													
支援２	3	2			19							4	28
支援１							3						3
合計	498	528	519	460	543	507	461	420	464	422	448	454	5724


2017年度実績
要介護1
要介護5
要介護2
要介護4
要介護3

(3)介護支援専門員

◆　認定調査

　認定更新時、市の依頼により支援相談課、介護課、看護課、管理栄養士と連携をとりつつ入所者個々の状態を調査し、管轄の区役所に提出した。
名古屋市認定調査員研修（現任研修）に参加し、適切な認定調査が行えるように研修を受けた。入所者の状態変化により随時区分変更の申請をし、入所者が適正な介護認定を受けられるように努めた。
　本人の住所地が名古屋市外の保険者である場合、認定更新時、該当保険者との委託契約による認定調査の実施、または、保険者から委託を受けた外部の認定調査員が調査を行う場合は立会いを行い、必要な情報提供を行った。
。
前月の認定調査料の請求を月初めにまとめ、請求書を名古屋市に送付した。

　認定調査//　２９年度　　４０件実施　（区分変更　３名）
　認定結果//　　４０　件中
　　介護度の変更のない方　　２６名
　　介護度が１上がった方　　９名　（内、区分変更１名）
　　介護度が２上がった方　　３名　（内、区分変更２名）
　　介護度が１下がった方　　２名

◆　個別処遇

ケアプラン作成

ケアプラン検討会議　　月、定例３回　　２９年度　36 回

新規入所があった場合、入所日に暫定的なケアプランを作成し、ご家族の承諾を頂き、その後 1 ヶ月間の施設生活を踏まえ、ケアカンファレンスを開催し見直し修正を行い、今後のケアプランを作成した。
入所受入時にケアプランを説明する事で、ケアスタッフが状態を聞き取りする時間を少なくし、ご家族が費やす時間を短縮した
その後は、モニタリングや評価を実施することで、認定月に合わせ 6 ヶ月ごとにケアプランを見直ししている。又、　退院その他状態変化が大きく見られた方は、適時カンファレンスを開き、適正なサービス計画作成に努めた。
ご本人、または身元引受人様にケアプランを確認頂き、サービス計画書１（フェースシート）に署名を頂き、実施の承認を得た。
ご本人やご家族の要望・意向は、ケアプランに反映させ支援相談課・介護課・

看護課・管理栄養士が情報を共有する事で実現に努めた。
　ケアプラン開始後は、各フロアーへ出向き職員からの情報や直接ご本人の状態確認を通して、小さな変化の発見や現状把握に努めた。
入所者の身体状態、精神活動状態に著しい変調が見られた場合、ご家族へ連絡し、場合によっては来苑頂き、対応の相談を行った。
リスクのある処遇の変更に関しては、メリット・デメリットをお伝えし、ご家族の意向に沿った処遇に決定し、状態観察を行い経過を伝えるようにした。
新人職員に、円滑にケアプランが作成できるように勉強会を行った。
新入所の方の新規ケアプラン２４件作成実施した。
入所の方の介護度、障害者自立度、認知症の自立度を表にして管理する事で、利用者全体の状態像の把握に努めた。
　入所の実状調査に同行し、入所面接調査を行い面接調査表を作成し、入所判定の情報を適切に伝え、入所後のケアプラン作成の原案として使用した。

(4)居宅介護支援

〈総括〉

平成30年度の介護報酬改定に向けて、情報収集に勤め利用者や介護者に適切な情報提供を行うための準備をしてきた。

その中で既に、医療介護の連携強化の動きも見られ、医療機関からの連絡を受けて、在宅での看取り体制の支援や、訪問診療への切り替えの事例も複数件あった。

また、入院先から退院後の生活においては、在宅での介護支援が困難なため、医療相談と連携を図りサービス付高齢者向け住宅や、住宅型有料老人ホームへ生活場所を移行し、その後の生活支援、介護支援もそれぞれ対応している。

平成28年6月から、名古屋市においては介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)が開始されている。多様な生活支援のニーズに地域全体で考えていくため、これまでと同様のサービスに加え、多様な担い手による新しいサービスを提供していくこととなったため、引き続き情報収集に努め利用者や介護者に適切な情報提供に取り組んでいる。

介護予防支援については、「本人のできることは出来る限り本人が行う」に引き続き心がけ継続して取り組むことができた。

サービス担当者会議や再アセスメント、モニタリング、サービス事業者への評価確認の実施も継続する事ができた。各種情報収集にも力を注ぎご利用者やご家族に対して適切な提供ができている。

〈介護保険サービス利用・その他相談について〉

介護保険サービスに関する相談やその他高齢者支援サービスについての相談、依頼においては随時対応し、各種サービス、関係市町村や他の居宅支援事業者との連携等、柔軟な対応を行った。利用者を介護している家族も高齢となり、介護者自身の健康面や保険外サービスの相談を受ける事も多くなってきている。

また、独居生活の利用者に対しては、緊急時の対応、緊急連絡先、近隣との関係などの確認を行なった。

あわせて、応答がない場合の訪室手段の確認も行っている。

民生委員との連携にも着手しているが、引き続きの今後の課題である。

〈ケアプランについて〉

家族への支援にも着目し再度利用者のアセスメントを実施しケアプランを見直すことが出来た。同時にかかりつけ医師や各サービス事業者へも訪問、文書、電話、FAXにて照会、相談及び意見を求めることも出来た。

〈サービス担当者会議〉

全てのサービス事業者・かかりつけ医出席での担当者会議は、調整が困難であり、

一部の参加により実施する担当者会議となったが、介護認定更新や身体状況の変化によるサービス内容の変更においてサービス担当者会議を実施することができた。
　また必要に応じて随時、専門的視点からの意見を求めるための開催も行ってきている。
尚、サービス担当者会議に出席できない事業者においては、事前に書面で回答をいただくことで当日の担当者会議において情報提供をすることに努めた。

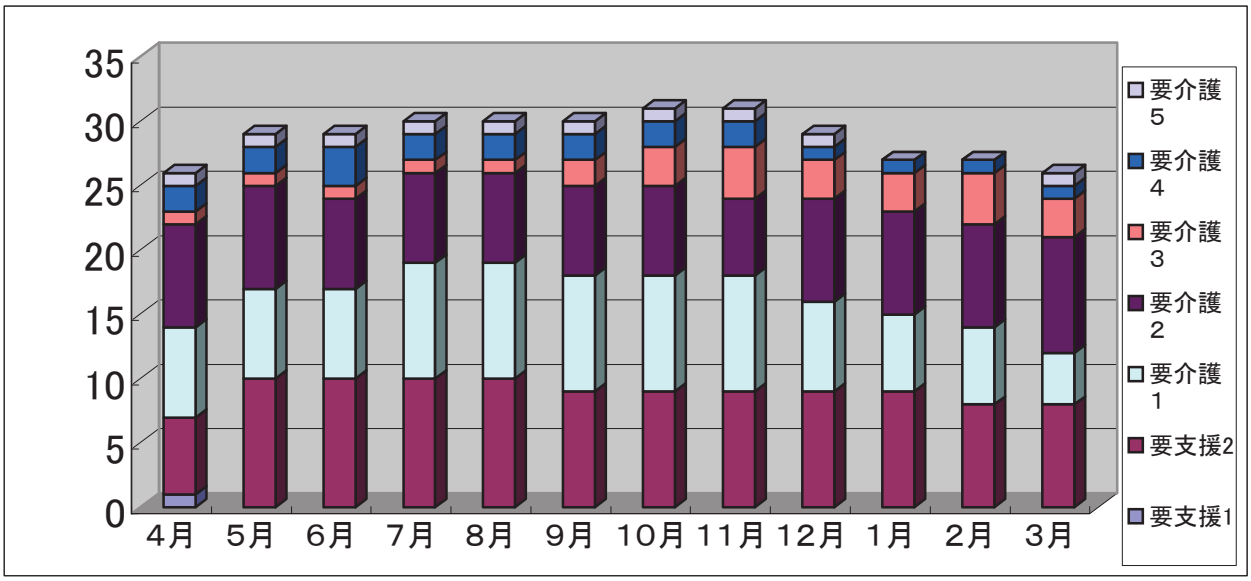
〈ご利用者居宅訪問について〉
　毎月最低１回は確実に訪問し、継続して状況把握に努めた。
※ 高齢者のみの世帯、独居生活の世帯に関しては、引き続き、介護保険サービス利用日以外にも意識的に訪問を実施、介護者やサービス事業者と密に連携をとる事で安否確認に努めた。

〈情報収集や質の向上について〉
　名古屋市介護サービス事業者連絡研究会などへの参加により、他ケアマネジャーやサービス事業者との連携を維持したり、定期開催のケアマネサロンや資質向上テーマの研修への出席、また、インターネットを利用することで情報収集やケアマネジメントサービスの質の向上に努めている。

〈居宅介護支援担当者数について〉
　個々のケースについて、居宅サービス計画の検討・作成・最低月１回の利用者宅訪問・家族との情報交換・毎月のモニタリング及びサービス担当者会議の開催又は、担当者に対する照会等の継続により深く関わりを持つことができた。
　今年度の新規契約者は 10 件、支援修了者が 10 件であった。担当数については昨年度末と大きな変動はなかった。安定した件数確保ができ、プラン数は昨年度より上回っている。
　しかしながら、身体状況の変化による入退院の件数も引き続き多く、認知症の進行や身体面の重度化に伴う施設入所への希望もある。
　平成 27 年 4 月介護保険法改正に伴い、特別養護老人ホームの特例入所の取り扱いにより、近年は他法人施設も含め特養入所希望への支援も多くなってきた。
　支援場所においても、これまでは在宅生活が中心であったが、サービス高齢者住宅、住宅型有料老人ホームと多様化が見られてきている。
　新規依頼があれば迅速な居宅訪問を心がけ、常に受け入れに努めていく。
　新年度に入っても、常に資質向上に努め、親切丁寧な相談・支援を継続できるように体制づくりに取り組んでいきたい。
　29 年度末の担当利用者の件数は 28 名となっている。（要介護 20 名・要支援 8 名）

平成29年度居宅介護支援（ケアプラン）担当数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援2	6	10	10	10	10	9	9	9	9	9	8	8	107
予防支援計	7	10	10	10	10	9	9	9	9	9	8	8	108
要介護1	7	7	7	9	9	9	9	9	7	6	6	4	89
要介護2	8	8	7	7	7	7	7	6	8	8	8	9	90
要介護3	1	1	1	1	1	2	3	4	3	3	4	3	27
要介護4	2	2	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	21
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	10
介護支援計	19	19	19	20	20	21	22	22	20	18	19	18	237



2　地域における公益的な取組み計画に関する事業報告

「藤美苑を地域に知ってもらう会」

相談部と介護課が地域貢献に向けて協力体制をとり、今年度も様々な内容で取り組みました。

1　認知症カフェの開催

10 月に藤美苑としては初となる認知症カフェを開催しました。認知症カフェの告知は新聞広告を中心に医療機関へのチラシやポスターの配布等行いましたが、残念ながら開催当日の天候が暴風雨となってしまいご利用者が一組のみの結果となってしまいました。認知症カフェの取り組みについては今後も継続的に努力を続けていき必ず成功させたいと思っています。

2　夏祭りを地域住民の方々に一部開放する

毎年ご利用者様とそのご家族様対象に行ってきた夏祭りイベントの一部を地位住民の方々に開放しました。
焼きそばやから揚げ等の食べ物の無料配布と輪投げや風船釣りのイベントを行い、子供連れの家族等楽しんでいただけました。たまたま藤美苑の前を通っただけと言う通りすがりの方まで参加していただけました。
当日、参加された方からは、藤美苑を身近に感じることが出来たというありがたいお言葉も聞くことができ、地域の方に藤美苑を理解していただく良い機会が出来たと感じております。
また、夏祭りの告知では上野学区と富士見台学区地域の回覧板を利用させていただきと地域団体との連携を図る良い機会を得ることができました。

3　地域へサロンとして場所を提供する

今年度もサロンの場所提供として日曜の午前デイルームを場所提供していきました。

4　「棒の手」の開催

藤美苑にて「棒の手演舞」を開催しました。今年度は天候が悪かった為施設内での開催となってしまい地域住民の方々に開放できなかった事は残念でした

が、たくさんのご利用者様に楽しんで頂く事が出来ました。

　また、「上野棒の手保存会」の方々と連携をとり、こ文化遺産を活かした地域活性化事業に携わることによって近隣地域住民との交流を図ることができました。

5　地域への車椅子の貸与

居宅事業所より依頼が有り、車椅子を一定期間お貸ししました。今後も地域からのニーズに耳を傾け、柔軟に対応をしていきたいと思います。

6　その他

「こども110番の家」への登録及び「はいかい高齢者おかえり支援事業」への登録を実施し地域貢献に努めました。

千種区社会福祉協議会の施設内で行われている、傾聴ボランティア「ひまわり」様の定例会に参加させていただき情報の交換を行いました。これによってボランティア団体だけでなく、いきいき支援センターの担当者とも情報交換の場を設けることができ、交流を図ることができました。

3　介護

(1)介護課

重度の認知症を抱える方や終末期に入ったご利用者様にも安心できる施設体制を整える。
平成 29 年度は上記の目標を掲げ取り組んで参りました。
その中心的な活動として、「看取り介護準備室」を立ち上げ、看取り介護の実施に向けての必要な体制作りに取り組みました。

「看取り介護準室」
看取り介護の実施に向けて「看取り介護準備室」を立ち上げ、月に一回看取り準備の為の会議を行いました。この会議で支援相談部、看護部と連携を計り、看取り介護実施に向けて必要な体制作りを行いました。

看取りを実施する為に必要な書類（同意書や記録書式等）を準備し、各部署との話し合いで訂正を含めた微調整を行い作成しました。

「葬儀会館ティア」と提携を結び、看取りを実際に行う際の注意点や質疑応答を含めた研修会を施設内にて実施しました。この研修によって介護職員の看取り介護への不安や疑問等を軽減する事が出来ました。

「ひもときシート」の活用
認知症の方が藤美苑でその方らしい安心した生活をしていただく為の方法として「ひもときシート」を活用しました。その方の問題となっている行動の原因を丁寧に分析し、対応することが出来ました。

認知症ケアミーティングでは
３Ｆを中心に「笑顔計画」という名前で、各ご利用者のニーズを拾い上げ、プランとして実施しました。お酒が好きな方に、夕食と合わせてお酒を用意したり、マニキュアをして頂いたり、個々のニーズに合わせて工夫をしました。

まとめ
早急に必要になると思われる「看取り」の体制に向けて「看取り介護準備室」を立ち上げましたが、看取りに対する不安を抱えていた職員にとっては効果が大きかったと思います。
看取り経験のある職員も施設によって対応に違いがある為、藤美苑としての取り組み方を示すことができたのは良かったと思います。

地域貢献と認知症ともに、来年度も重要な内容になりますので、介護課一丸となって引き続き一生懸命取り組んで参りたいと思います。

＜プロフェッショナル＞
各フロアに専門分野を設け、それぞれの課題に取り組んでいきました。

１Ｆの褥瘡では、褥瘡予防ミーティングの中心に引き続き１Ｆフロア係長を配置し、勉強会やケース検討会を栄養士や看護師を交え実施し、褥瘡予防に努めました。
全般的にご利用者の ADL 低下が顕著な中で褥瘡対象者の大幅な増加も無く、素晴らしい成果を得ることが出来ました。

２Ｆの接遇では、上半期にご利用者の要望を職員が充分に取り入れることが出来なかった事象がありました。2F 係長とともに接遇を見直し、同様の事が起こらないよう指導しました。

3F の認知症対応では「ひもときシートの活用」で示した通り一定の成果を上げることが出来ました。

＜マナビタの導入＞
研修プロジェクトとして「マナビタ」を導入しました。これにより職員の時間を無理に使う事無く様々な研修が出来るようになり職員の負担を減らす事ができると同時に、必要な知識を効率的に得る事が出来るようになりました。

＜Happiness Project＞
ご利用者の生活の中に幸せを感じるひとときを提供するために３Ｆを中心に「笑顔計画」を設立し実行しました。ご利用者の食べ物や飲み物の嗜好。昔やっていた趣味等を調査し、施設内で実行可能な事をご家族様協力のもと行いました。

個人のニーズを把握し、ご家族やご本人の喜びになるもの、帰りたいとおっしゃっていた場所へ行く外出や、見たいものがある場所へ行く外出など、こちらから提案したものではない外出をいくつか実施する事が出来ました。

１、　　余暇の充実

フロアレクリエーションについては
１Ｆ→１７６回実施しております。

２Ｆ→１２７回実施しております。
３Ｆ→１６５回実施しております。

今年度は Happiness Project の冒頭に記載したとおり笑顔計画としてご利用者の趣味趣向を考えたレクリエーションを実施する事が出来ました。

おやつレクリエーションについても、かき氷やパンケーキ等を季節に合わせて企画しご利用者の皆様に楽しんで頂く事が出来ました。また、もちつきも昨年同様実施し、好評でした。
ボランティア参加型のものでは、教会の慰問などもありました。
ミーティングについても、定期的に開催することで、情報交換を細かにし、良いものを提供できるよう努めました。

お楽しみ外出
おかげへの外出を中心に延べ 62 名の外出を実施しました。
相撲部屋の見学、近隣公園、東山動物園への外出に加え、今年度は藤美苑では初の試みとなる高山グリーンホテルへの一泊旅行を行う事が出来ました。一泊旅行では温泉入浴とバイキングの夕食等楽しんで頂き、本人様や同行したご家族様から大変ご満足いただける結果となりました。

今年度は感染症の影響で初詣等の外出が中止になった影響もあり、外出延べ人数は昨年よりも減少してしまい目標の 100 名を達成することが出来ませんでした、100 名を達成できるよう今後も引き続き努力していきたいと思います。
ただ、念願だった一泊旅行を実現し、成功する事ができたのは大変良かったと思います。

２、　食事
一年を通して大きなトラブル無く、実施することができました。

３、　排泄
排泄担当者会議を中心に、ご利用者に合ったパットの選定を実施しました。今年度も褥瘡予防ミーティングとの連携を図り、早期の褥瘡治癒に努め、一定の成果を得ることができました。コスト管理もしっかりと行い、紙パンツ分の増加が年の途中からあったにもかかわらず、予算内に収めることができました。

４、　入浴
今年度は少しでも多くの回数の入浴を楽しんで頂くために、希望者のみですが月に一回余

分に入浴して頂けるような取り組みを行い実施しました。２月、３月は残念ながら感染症のため中止となってしまいましたが今後も続けていきたいプロジェクトです。

５、　拘束

新たに施設で拘束を実施することになった方は一人もおりませんでした。

６、　環境　７、　記録の徹底

問題なく実施することができました。

８、　会議の充実

介護課会議については、出来る範囲で月２回実施し、課内の問題解決に取り組みました。
フロアミーティングでは、ほぼ月 １ 回時間外に集まり、各フロアでご利用者の生活向上に努めました。
排泄担当者会議、外出担当者会議、レクリエーションミーティング、認知症ケアミーティング、褥瘡予防ミーティングについては前述したとおりです。

９、　認知症の方に対して

冒頭記述したとおりです。

１０、　廃用性症候群の予防と対応

＜プロフェッショナル＞の項目で触れたとおり、褥瘡予防ミーティングのメンバーを中心に褥瘡０および予防に努めました。

１１、　事故の予防・管理

ヒヤリ・ハットについては強化月間としてヒヤリ・ハットを職員１人につき月 5 件をノルマとして取り組んだ月もありました。また、それらを介護課会議で取り上げ、リスクの共有を図りました。また、フロアミーティングにおいてもチーム内での情報共有を図り、事故の予防に努めました。

１２、　感染症予防・管理

今期は１２月と１月にインフルエンザを施設内で発生させてしまいましたが早期の対応で拡大を防ぐ事ができました。ノロウィルスについては施設内で感染者を出すことなく、年度を終えることが出来ました。
来期も引き続き感染症予防と早期の対応に努めていきたいと思います。

表5　入所者の状況

年齢別表（H30.3.31）

年齢	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	
男												0
女									1		1	2
計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2

年齢	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	
男				1		1			1	2	5
女	1	1	1		1		1		1		6
計	1	1	1	1	1	1	1	0	2	2	11

年齢	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	
男		1					1	1			3
女	3	5	1	1	5	4	2	3	2	4	30
計	3	6	1	1	5	4	3	4	2	4	33

年齢	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	
男							1				1
女	2	7	3	2	3	2	3	5	2	2	31
計	2	7	3	2	3	2	4	5	2	2	32

年齢	101	102	103	104	105	計	
男				1			1
女			1				1
計	0	0	1	1	0	80	2

平均年齢　88.1歳　（ 男性　84.7歳　女性　88.6歳 ）

月別面会者数（H29.4.1～H30.3.31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	294	249	222	238	215	236	219	238	273	278	192	302
合　計		2,956　人			1か月平均		246.3　人		1日平均		8.1　人	

資料

(1)入退所の状況(人)

	26年	27年	28年	29年
退所者	23	20	25	24
新規入所者	21	19	28	24

(2)入所者の年齢別(各年度末・人)

	26年	27年	28年	29年
70歳未満	1	1	1	1
70～	5	2	2	5
75～	7	9	7	5
80～	31	30	28	31
90～	28	30	38	34
100歳以上	6	5	4	4
合計	78	77	80	80
平均年齢	88.1	88.1	88.9	88.1
男平均年齢	823.9	83.6	81.5	84.7
女平均年齢	89	89	90.1	88.6

最高　104歳
最低　68歳

(3)入所者の性別(各年度末・人)

	26年	27年	28年	29年
男	13	13	13	10
女	65	64	67	70
合計	78	77	80	80
女性の割合	83%	82%	84%	88%

(4)入所者のADL割合(%)

入浴

	26年	27年	28年	29年
自立	5	1	0	0
一部介助	45	16	23	36
全介助	50	82	56	44

着脱衣

	26年	27年	28年	29年
自立	9	12	6	4
一部介助	38	28	36	35
全介助	53	60	37	41

排泄(昼)

	26年	27年	28年	29年
自立	14	10	5	4
一部介助	50	54	42	43
全介助	36	35	32	33

食事

	26年	27年	28年	29年
自立	51	46	35	31
一部介助	27	25	21	30
全介助	22	27	23	19

排泄(夜)

	26年	27年	28年	29年
自立	10	10	4	4
一部介助	30	21	26	21
全介助	60	68	49	55

体位変換

	26年	27年	28年	29年
自立	38	26	35	41
一部介助	34	30	14	14
全介助	28	44	30	25

室内移動

	26年	27年	28年	29年
自立	33	16	7	7
一部介助	32	20	25	32
全介助	35	62	47	41

平成30年3月31日　現在

H29	長寿お祝い該当人数		お祝い別人数	
4月	1 名		古希	1
5月	0 名		喜寿	1
6月	1 名		傘寿	2
7月	1 名		米寿	3
8月	2 名		卒寿	3
9月	2 名		白寿	2
10月	0 名		百寿	2
11月	0 名		計	14
12月	1 名			
1月	3 名			
2月	1 名			
3月	2 名			
	14 名			

H29年度16名予定していたが、お祝いを迎える際に入院中でタイミングが合わず、
結果14名の方に実施となっている。
普段あまりこられないご家族もお見えになり、皆様でお祝いする場が提供できた。
ご家族がとうしても来られない方については、記念写真のみの実施となっている。

平成29年度　事故報告数・結果一覧

時刻	時刻	件数
>=0:00	<1:00	5
時刻	時刻	件数
>=1:00	<2:00	7
時刻	時刻	件数
>=2:00	<3:00	
時刻	時刻	件数
>=3:00	<4:00	4
時刻	時刻	件数
>=4:00	<5:00	6
時刻	時刻	件数
>=5:00	<6:00	16
時刻	時刻	件数
>=6:00	<7:00	10
時刻	時刻	件数
>=7:00	<8:00	7
時刻	時刻	件数
>=8:00	<9:00	9
時刻	時刻	件数
>=9:00	<10:00	15
時刻	時刻	件数
>=10:00	<11:00	21
時刻	時刻	件数
>=11:00	<12:00	19
時刻	時刻	件数
>=12:00	<13:00	10
時刻	時刻	件数
>=13:00	<14:00	12
時刻	時刻	件数
>=14:00	<15:00	15
時刻	時刻	件数
>=15:00	<16:00	14
時刻	時刻	件数
>=16:00	<17:00	13
時刻	時刻	件数
>=17:00	<18:00	11
時刻	時刻	件数
>=18:00	<19:00	16
時刻	時刻	件数
>=19:00	<20:00	7
時刻	時刻	件数
>=20:00	<21:00	4
時刻	時刻	件数
>=21:00	<22:00	2
時刻	時刻	件数
>=22:00	<23:00	3
時刻	時刻	件数
>=23:00	<24:00	9
不明		
計		235

時刻	件数
0:00～	11
1:00～	2
2:00～	4
3:00～	3
4:00～	5
5:00～	12
6:00～	7
7:00～	11
8:00～	4
9:00～	23
10:00～	27
11:00～	28
12:00～	7
13:00～	13
14:00～	15
15:00～	28
16:00～	12
17:00～	11
18:00～	17
19:00～	7
20:00～	4
21:00～	1
22:00～	2
23:00～	7
不明	
計	261

場所	件数
1F居室	25
2F居室	28
3F居室	52
1F居室ﾄｲﾚ	9
2F居室ﾄｲﾚ	5
3F居室ﾄｲﾚ	3
1F身障者ﾄｲﾚ	
2F身障者ﾄｲﾚ	
3F身障者ﾄｲﾚ	
1F廊下	
2F廊下	1
3F廊下	3
1Fﾎｰﾙ	26
2Fﾎｰﾙ	11
3Fﾎｰﾙ	54
2F食堂	2
2F一般浴室	13
1F特浴室	20
その他	9
計	261

内容	件数
転倒	50
転落	6
怪我	64
打撲	56
異食	6
誤嚥	1
誤薬	6
感染症	
その他	56
滑落	16
破損	
紛失	
計	261

平成30年4月

事故報告件数（H16年度～H29年度）

時間帯別	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度	H19年度	H18年度	H17年度	H16年度
0:00～	11	5	10		1	1	2		18	3	3	14	14	17
1:00～	2	7	1	4	2	3		1						
2:00～	4		1	3		2	3							
3:00～	3	4	7		2	2	1	4						
4:00～	5	6	6	4	2	3	6	7	15	16	13	31	34	22
5:00～	12	16	10	2		5	7	7						
6:00～	7	10	5	9	6	5	7	8						
7:00～	11	7	8	8	3	6	5	2						
8:00～	4	9	14	2	2	5	4	6	18	17	17	23	37	22
9:00～	23	15	12	11	4	1	6	6						
10:00～	27	21	27	9	5	4	4	7						
11:00～	28	19	30	8	5	4	6	6						
12:00～	7	10	5	4	6	7	4	6	22	15	27	42	34	45
13:00～	13	12	6	5	7	4	1	10						
14:00～	15	15	12	8	7	8	4	8						
15:00～	28	14	20	10	8	3	6	7						
16:00～	12	13	6	6	5	5	6	9	29	20	26	27	42	53
17:00～	11	11	12	3	6	3	3	2						
18:00～	17	16	11	9	11	6	12	7						
19:00～	7	7	4	2	5	4	4	5						
20:00～	4	4	4	4	1	4	7	6	11	7	14	17	17	25
21:00～	1	2	2	1	1	2		3						
22:00～	2	3	11	1	3	1	1	5						
23:00～	7	9	1	3	1	2	2							
不明	.					2					4			4
年度別総数	261	235	225	116	93	92	101	122	113	78	104	154	178	188

場所別	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
1F居室	25	22	25	6	10	7	13	13	17	2
2F居室	28	23	19	12	10	9	18	15	14	12
3F居室	52	44	30	17	12	16	7	22	21	14
1F居室ﾄｲﾚ	9	3	6	3	2	1	1	5	2	
2F居室ﾄｲﾚ	5	3	5	2	1	3	3	3	3	4
3F居室ﾄｲﾚ	3	6	5	3	2	1	2	6	7	1
1F身障者ﾄｲﾚ		3					3		1	
2F身障者ﾄｲﾚ			1		1			1		
3F身障者ﾄｲﾚ				1	1			1		
1F廊下					1		2	2	3	1
2F廊下	1	3	1	3	3	3	3	2	5	7
3F廊下	3	3	3		2	1	1	3	5	
1Fﾎｰﾙ	26	18	24		3	3	2	5	6	8
2Fﾎｰﾙ	11	14	13	4	6	9	9	12	3	6
3Fﾎｰﾙ	54	43	35	28	19	12	18	16	17	12
2F食堂	2	3	6	5	5	6	8	4	2	1
2F一般浴室	13	7	15	8	6	5	1	3	4	2
1F特浴室	20	16	17	5		3	2	4	2	3
その他	9	24	20	12	9	13	8	5	1	5
年度別総数	261	235	225	109	93	92	101	122	113	78

※「場所別」は平成19年度以前の集計に一部確認できない所がある為、未掲載。

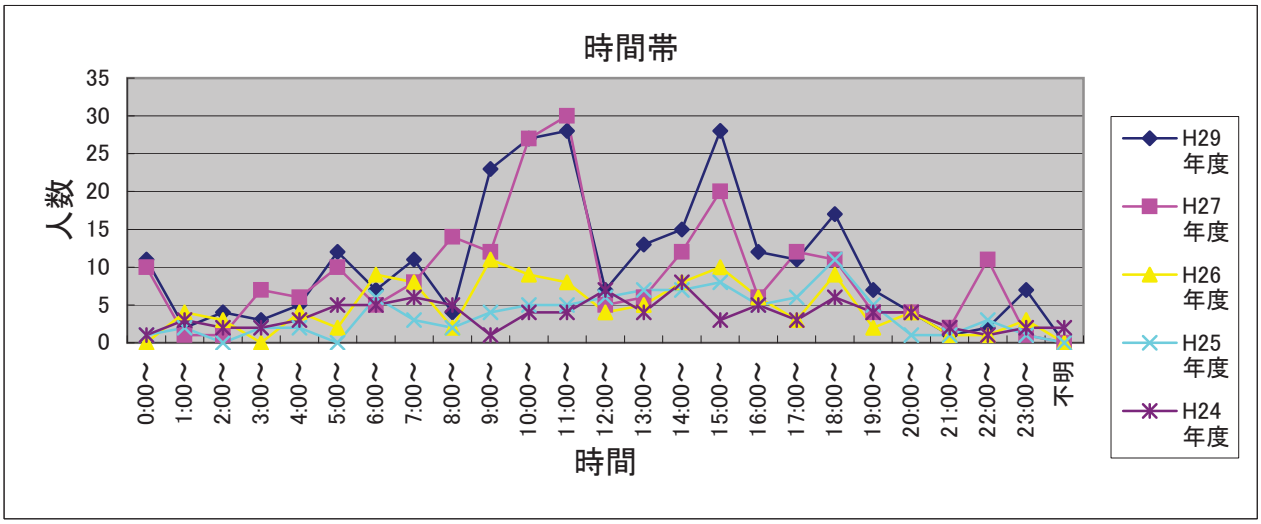
※H18年までは転落＋滑落（ずり落ち）合計数です。

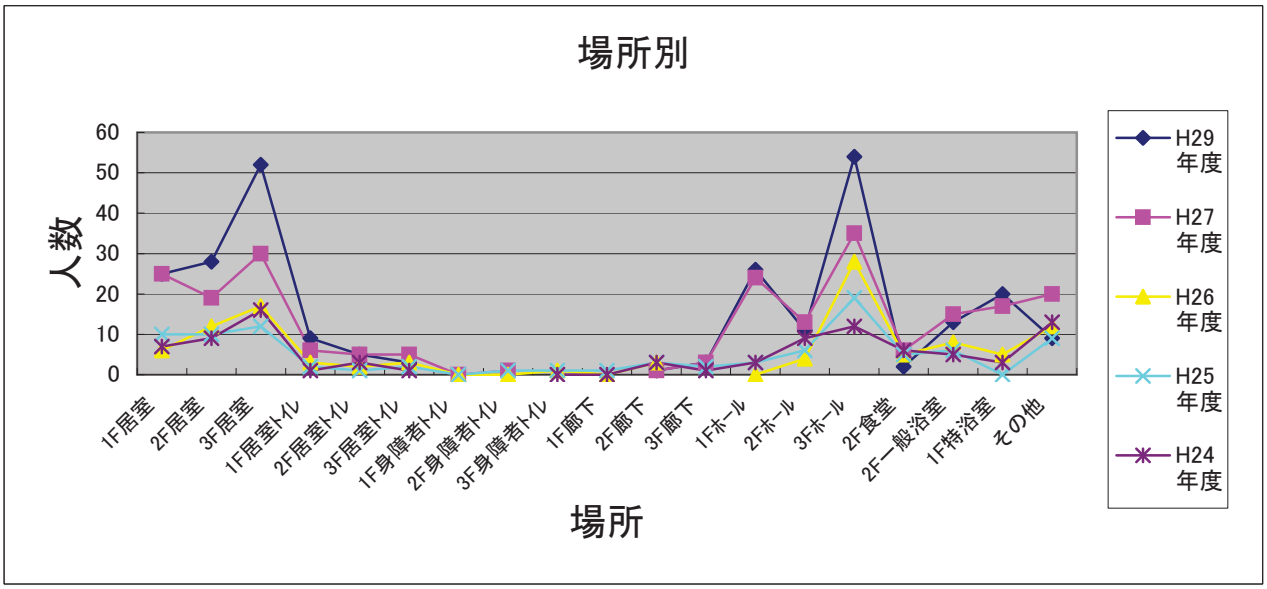
・・・過去最高数

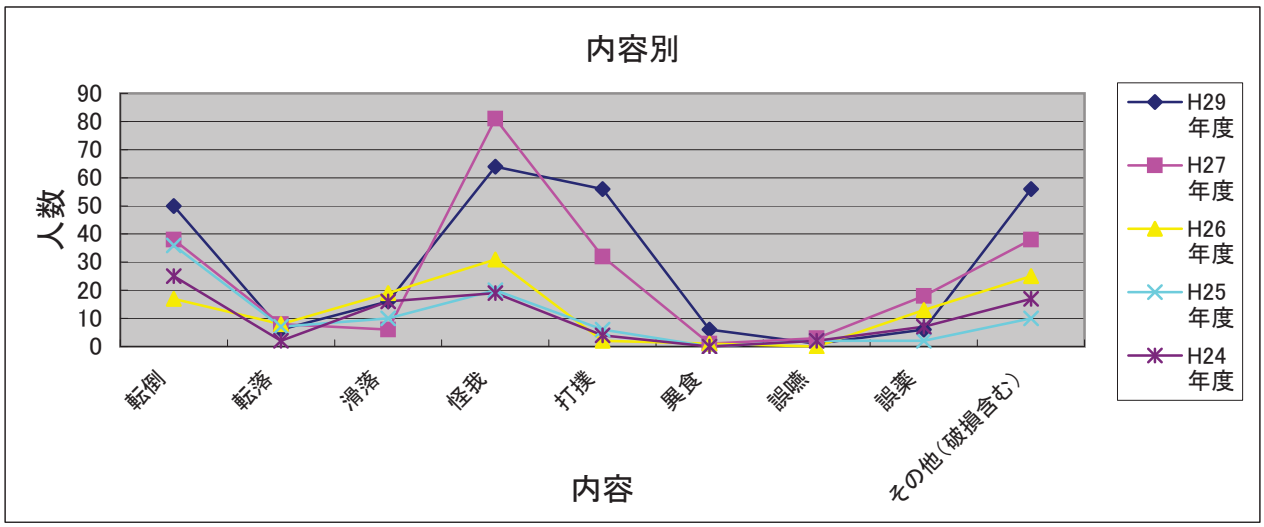
内容別	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度	H19年度	H18年度	H17年度	H16年度
転倒	50	40	38	17	36	25	29	30	33	28	31	57	40	75
転落	6	7	8	8	7	2	4	6	19	2	5	24	36	30
滑落	16	12	6	19	10	16	16	16	14	21	22			
怪我	64	113	81	31	20	19	18	31	7	10	18	19	30	31
打撲	56	17	32	2	6	4	2	4	3	4	6	12	11	8
異食	6	2	1	1			1	4		1	7	17	11	6
誤嚥	1	3	3		2	2	1	2	3	1	1			
誤薬	6	6	18	13	2	7	4		1		2	1		
その他（破損含む）	56	35	38	25	10	17	26	29	33	11	12	24	50	38
年度別総数	261	235	225	116	93	92	101	122	113	78	104	154	178	188

平成30年4月

平成22年～平成29年度　事故発生状況

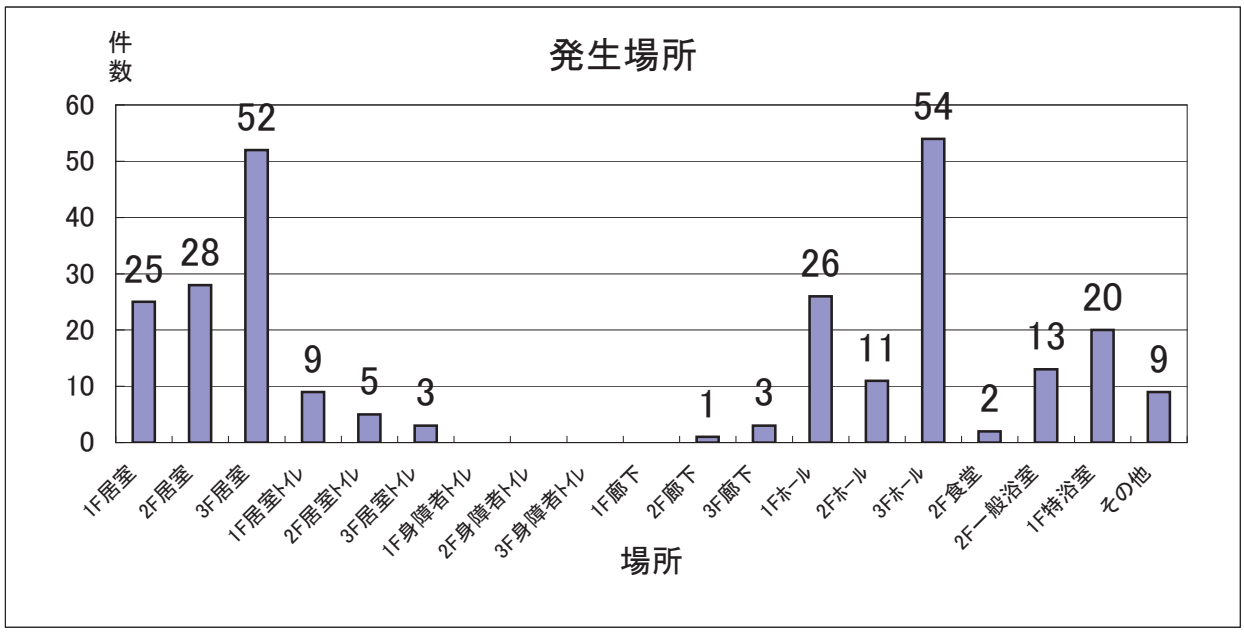


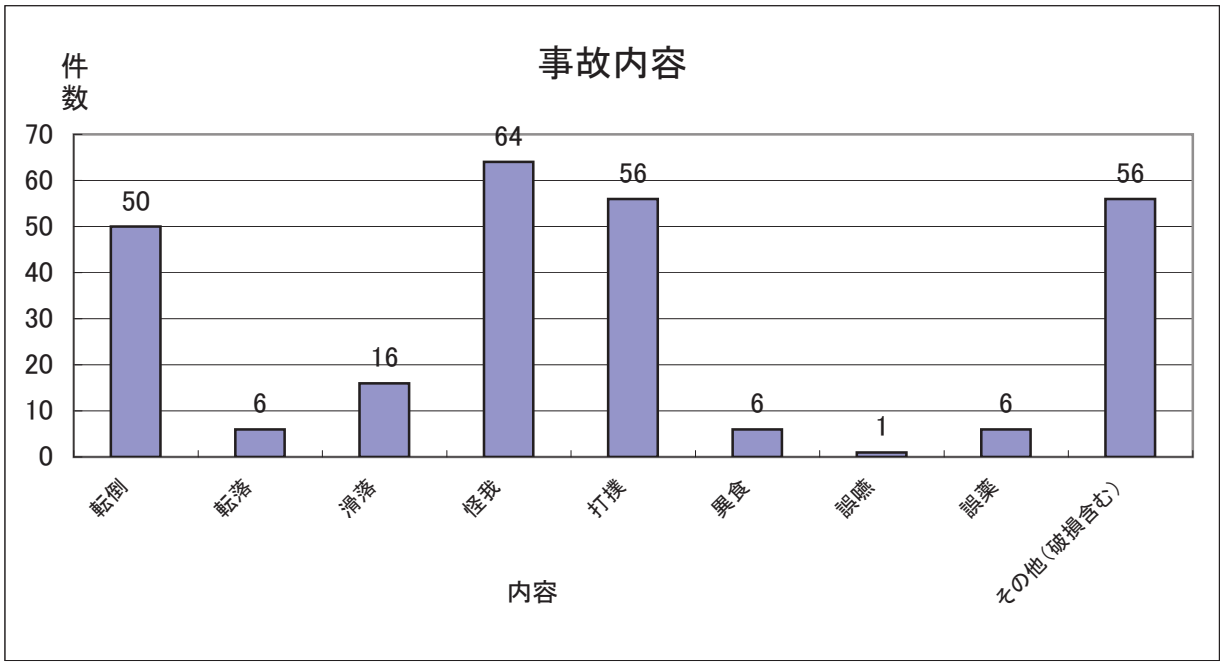


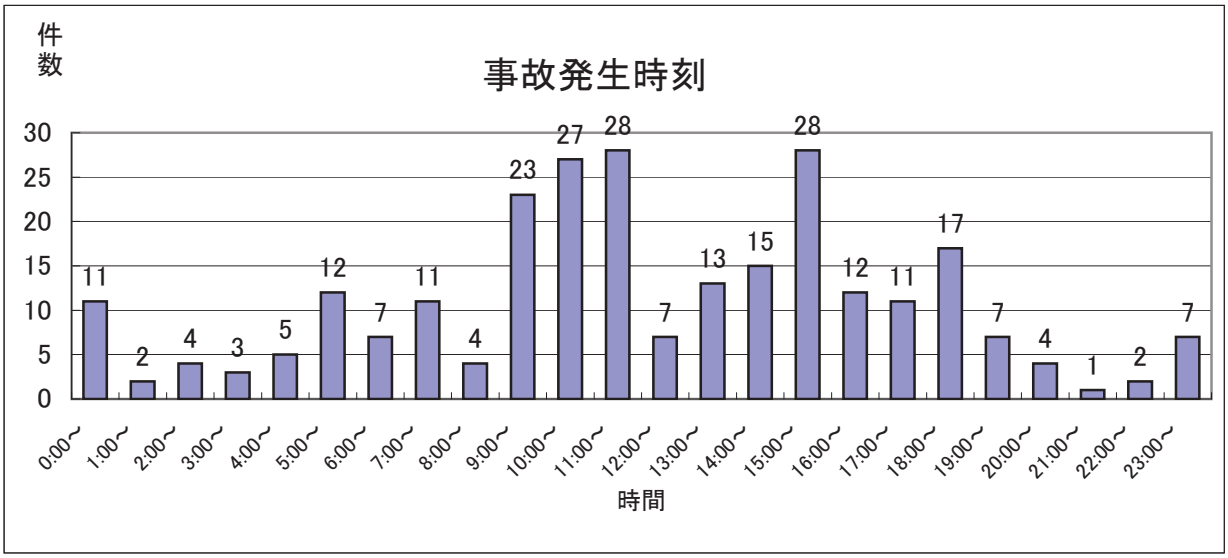


平成30年4月

平成29年度事故発生状況







平成30年4月

(2)介護支援課

日本・地域の介護情勢の変化に対応できるよう、介護職員に「考えて行動・自発的な発言・自立」が行なえる職場にする為、職場内外研修・教育・目標を持つ・状況に応じたOJTやOFF-JT実施・施設内外での自主学習・全介護職員が意見を伝えられる職場環境を目指し、皆のモチベーションアップ・キャリアアップを目指しました。

危惧される東南海地震を想定し、また地域貢献の一環として、研修生・実習生・地域ボランティア等の受入れ・地域の運動会や保育園・養成校等への訪問を継続・拡大は前年同様でした。また地域の方々を苑内に招く事の出来る環境・ｲﾍﾞﾝﾄを計画し、より深い交流を目指しました。

1　職場研修・教育・指導マニュアルの構築と実施

- 藤美苑の理念に沿った、職場研修の「方針」明示は不十分でした。
- 介護課年間目標の達成の為、内外研修等の提案・実施は行ないました。
- 「目標設定・目標達成の為の計画・実施・定期振り返り」を行う事で、個人の成長を明確に出来る様にするのは不十分でした。
- 各部署でリーダーがフロアーの現状に即した職員育成の為の対策・勉強を行いました。
- 各部署の育成リーダーは係長。新人職員だけでなく各部署職員に対しても個人目標を一緒に設定し、その達成のための方法も探りました。定期に振り返り・年度末に反省を行い、次年度に生かすことは不十分でした。
- 介護業務に関しての統一した分り易いマニュアルの修正は不十分でした。
- 新人教育は方法を修正・追加しつつ、資格のない職員でも現場で問題ない所まで成長出来る事を目指しました。
- 施設外研修の結果を現場職員全員に還元出来る環境を目指しました。
- 各自でレベルアップを図るため休憩室等、施設で用意出来る環境の提案は不十分でした。
- 目標を基に、キャリアレベルに応じた育成は不十分でした。施設外研修は適切な職員を派遣できる環境を目指しました。希望に応じた内容は極力取り入れました。必要時、職員個人に沿った育成方法も一部実施しました。
- 各フロアー年間テーマを達成出来るよう、職員自身が立場を理解し、チーム・組織への貢献ができるようフォローしました。外部研修の提案もしました。
- 上記方法にて職場研修「PDCAサイクル」の構築を目指しましたが不十分でした。

2　感染症対策マニュアルに基づいた実施と修正

・ マニュアルを基に感染症発生時に実施、振り返り・修正を行いました。
・ 具体的な勉強会等は不十分でした。
・ 刻々と変化する新しい情報提示と修正を提案していきました。

3　研修生・実習生の受入れ

介護福祉士は資格者養成という役割があります。現場では係長（補佐中堅職員）が中心となり、実習生が学びやすい形を目指しました。

4　地域貢献（ボランティア、福祉体験・職場体験の受け入れ等）

・ 介護課長・介護支援係と相談部が協力し、地域貢献を進めました。
・ 地域福祉教育をより深める為に、小中高生や地域の方々のボランティア・職場体験活動・福祉体験・職場体験を広く受け入れました。
・ 地域（町内会等）・学校等へ出向く事で皆が求められる活動を把握し、かつ積極的な交流を目指しました。
・ 交流を行ったボランティアの皆様に対し連絡・お礼等を行う事で継続的な交流を進めました。
・ 地域の方々を苑内に招く事の出来る環境・ｲﾍﾞﾝﾄを前年以上に行う事で、これまで以上の交流を目指しました。

（サロン、行事招待、講習会、介護職を利用した貢献　棒の手　等）

5　身体拘束廃止の研究

日常の生活の中で安易な身体拘束が起こらない様な施設を目指し、各職員が一丸となって取り組めるよう、身体拘束廃止委員会を中心に現状把握・各職種との連携・「事故・拘束・虐待の繋がり」を考え、拘束廃止継続に努めました。

6　事故予防対応

・ 月１回実施の事故予防検討委員会は実施も、介護職員全員参加対象とした事故予防の勉強会年１回開催は不十分でした。ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの課題でした。

平成29年度　介護課勉強会・ミーティング　一覧

日時	内容	講師	参加者	人数
H29.6	看取り勉強会	小塚次長	1名除く全介護職員参加　（ビデオでの研修含む）	22
H29.7	褥瘡と援用管理	㈱ﾃﾙﾓ 石川様	4名除く全介護職員と看護職員（ビデオでの研修含む）	27
H29.12	ターミナル研修（マナビタ）	マナビタ	マナビタにて対象のビデオを鑑賞、感想を入力する	23
H30.1	感染症研修（マナビタ）	マナビタ	マナビタにて対象のビデオを鑑賞、感想を入力する	19
H30.2	事故予防①（マナビタ）	マナビタ	マナビタにて対象のビデオを鑑賞、感想を入力する	20
H30.3	事故予防②（マナビタ）	マナビタ	マナビタにて対象のビデオを鑑賞、感想を入力する	16
			合計	127

平成29年度　介護課フロアーミーティング　一覧

日時	フロアー	人数	日時	フロアー	人数
29.4.21	1階	9	29.10.11	1階	6
29.5.13	2階	6	29.10.28	3階	4
29.5.28	3階	6	29.11.9	2階	6
29.6.2	1階	7	29.11.20	3階	9
29.7.3	1階	4	29.12.18	1階	7
29.7.26	2階	5	30.1.10	1階	8
29.7.22	3階	7	30.1.14	2階	8
29.8.9	1階	5	30.1.19	3階	6
29.8.22	3階	9	30.2.8	1階	7
29.9.4	1階	7	30.3.5	1階	9
29.9.20	2階	5	30.3.20	2階	7
29.9.22	3階	8	30.3.6	3階	7
回数：12	上半期合計	78	回数：12	下半期合計	84

総回数：24	**年間合計**	**162**

平成29年度　特別養護老人ホーム藤美苑　　実習・研修生・介護体験　受入状況

相手先名	実習・講習内容	受入人数	期　間	延べ人数
ﾍﾙﾊﾟｰｽｸｰﾙ　ｶｲ	初任者研修	3 名	7/4	3 名
名古屋医療秘書福祉専門学校	介護実習Ⅱ	3 名	7/3～7/28	60 名
愛知淑徳大学	教員免許特例法　介護体験実習	5 名	9/4～9/8	25 名
愛知淑徳大学	教員免許特例法　介護体験実習	5 名	9/25～9/29	25 名
振甫中学校	職場訪問活動	4 名	10/19	4 名

受入人数合計	20 名	延べ人数総計	117 名

平成29年度　ボランティア来苑人数

1、夏期高校生ボランティア（中部善意銀行主催）参加人数

	参加人数	延べ人数
7月	3	5
8月	3	6
合計（1）	6	11

2、行事・個人ボランティア参加人数について

内容	参加人数	延べ人数
春まつり （コーラス）	3	3
6月誕生会　アトラクション（上野コールエコー　合唱）	16	16
春里保育園　ふれあい訪問（6月）	25	25
自由が丘協会ふれあい訪問（6月）	15	15
夏祭り （8月・模擬店手伝い、上野学区女性会）	25	25
8月誕生会　アトラクション（冨高先生とフラダンス教室の皆様）	14	14
上野学区「棒の手」 10月	25	25
9月敬老祝賀会（三田ファミリー）	2	2
秋まつり （10月・名電ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ部 ）	10	10
秋まつり （10月・如意さくら太鼓 ）	6	6
11月誕生会　演奏（白河ハーモニック）	20	20
テルミンコンサート（11月）	2	2
愛工大名電高校ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ(夏)	20	44
傾聴ボランティア「ひまわり」 月2回	5	42
紙芝居ボランティア（松田美鈴様）	1	12
あすなろお茶会（年10回 ）	7	55
合計（2）	196	316

総数（1）＋（2）	216名	322名

4　看護

＜健康管理について＞

①　月１回　体重測定・血圧測定実施を実施し、管理栄養士と連携を図る事で健康管理を徹底した。

②　年１回　健康診断実施（レントゲン撮影：6 月・採血：11 月）
異常者に関しては嘱託医・提携医療機関と連携して適切に対処することが出来た。

＜健康状態の把握について＞

嘱託医診察（週２回　火曜・金曜日　13:00～）を通して、日常生活における相談及び対応指示を頂き健康状態の安定に努めた。また、嘱託医では対応困難な方（採血が必要な方、膀胱留置カテーテル留置者）は実施可能な他の往診医に管理お願いし、その指示のもと適切に対応できた。

＜疾病予防について＞

疾病の早期発見・早期治療に努めた。
インフルエンザの大きな蔓延なく年度を終えられた。

＜リハビリについて＞

①　月１回　　理学療法士指導（第１水曜日　14:00～）
②　週１回　　看護職員により実施（週１回程度　）
参加者（各フロアーにて実施）
内　容　　簡単な上下肢の運動等

上記により実施したが、看護師にてのリハビリ及び個別ごとでのリハビリ対応としては不十分な部分がみられた。

＜救急対応について＞

緊急の場合は、救急車対応にて医療機関へ受診を行い、適切な治療をうけられるよう努めた。

＜精神科医指導について＞

小林メンタルクリニック（月２回　第１・３火曜日　15:00～）による指導のもと対応する事が出来た。
主治医変更有ったが滞りなく移行できた。

＜歯　科について＞

本山歯科　　往診（毎週月曜　午後～）
内容　　口腔ｹｱ指導、義歯作成・修理・調節、抜歯　等
必要者に適切な治療、口腔ｹｱ指導をして頂くことができた。

＜耳鼻科について＞

竹田耳鼻科　往診（月１回　　13:00～　）
内容　　簡易聴力検査、耳垢除去　等

＜受診状況について＞
嘱託医診察の結果、他科受診の必要性がある場合、外来受診を実施し、適切な対応を図った。（実績は表７参照）

＜疾病状況について＞
入所者の疾病状況については表８参照。

＜看護記録について＞
福祉見聞録(パソコン)で情報共有を図ることに努めた。

＜胃ろうについて＞
胃ろう増設者の対応を協力提携医療機関と連携を図って滞りなく行うことができた。
ショートステイの方の胃瘻管理も行えた。

＜介護職員医療的ケアついて＞
介護職員による胃ろうの手技・吸引実施のための対象者の検討を認定看護職員中心に委員会にて実施した。

＜重度化について＞
看取り期に差し掛かりつつある利用者のご家族への説明と精神面への援助を行うと共に延命等を含めた意思確認も書面をもって行えた。
特養だけでなく、ショートステイ利用者に関しても医療依存度の高い方の受入れが出来るように努めた。病院退院後からの直接入所後の健康管理、ストマの受入れ、末期癌、ウロストマ、膀胱留置バルーンカテーテル、PEG の管理など実施。

＜褥瘡について＞
褥瘡対策委員会・褥瘡対策ミーティングを通じ、より適切な対応の検討がなされるように情報の共有を図る事ができた。

＜入院者数について＞
平均年齢の上昇・平均要介護度の上昇に伴い一度入院されると長期入院化が避けられず平均入院者数の低値安定を図ることが難しくなってきているが、入院後苑への帰苑が困難だと思われる方に関しては必要時実状調査などの介入を相談員と共に行ない医療機関との連絡調整を図ると共に、ターミナル期に差し掛かりつつある利用者のご家族に対しては入院前より早め早めに看護師よりご家族に現状及び今後予想されることについて繰り返しご説明して受容して頂けるように努めた。

尚、添付の諸表は平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 迄のものとなっています。

表7　入所者受診状況

（H29.4.1～H30.3.31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉田病院 内科	8	13	13	8	8	6	8	5	7	3	6	7	92
東部医療センター	3	7	5	5	3	12	6	4	7	6	10	5	73
光ヶ丘内科クリニック	1	1											2
東海病院	1	2	1	1		2	2	1				1	11
江口整形	0			1		1				1	1		4
竹田耳鼻科		1	1						1				3
岡田皮膚科	4	5	10	14	11	13	3		4	1	5	4	74
長谷川眼科	1		1	1	1	3			2	2			11
名古屋ハートセンター								1			1		2
後藤皮膚科									1				1
名市大病院						1							1
八事日赤病院				1						1	2	2	6
大隈病院				3	1								
和田内科病院									1				
八事病院					1								
平林クリニック									1				
	18	29	31	34	25	38	19	11	24	14	25	19	280

表8　入所者の疾病状況

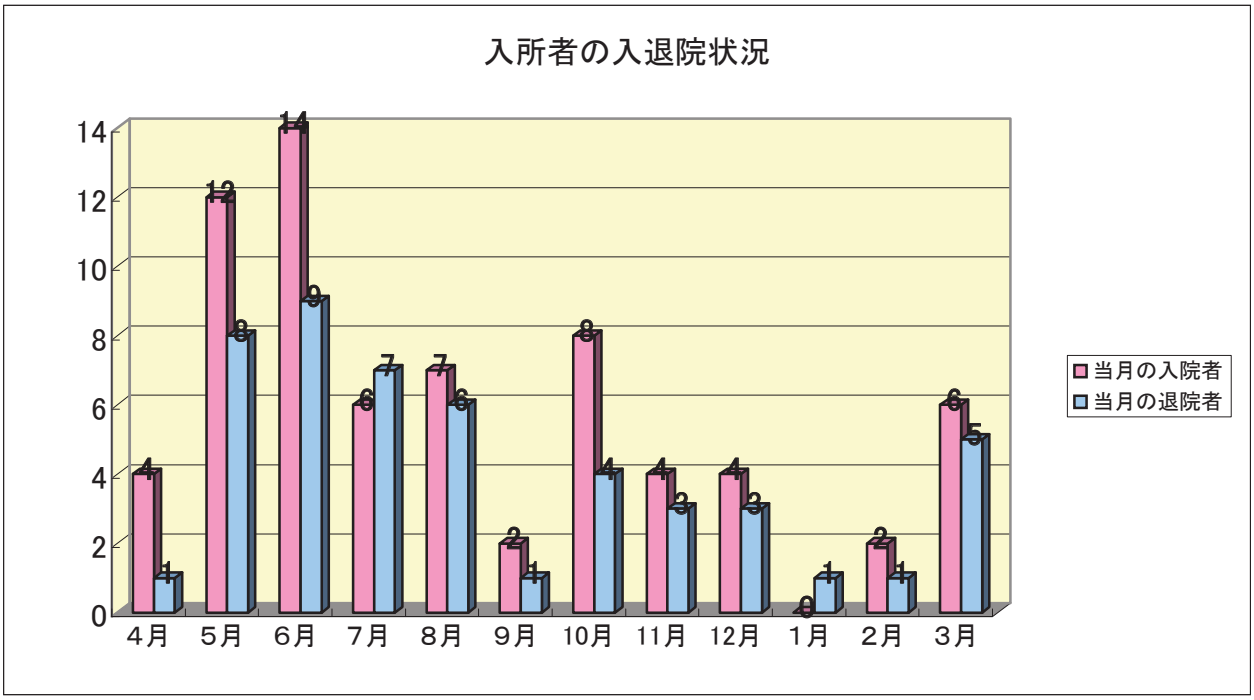
（H30.3.31）

疾病名	人数	疾病名	人数
高血圧	39	アルツハイマー型認知症	17
認知症	48	難聴	3
胃瘻造設後	7	狭心症	4
糖尿病	11	骨粗鬆症	13
便秘症	66	不眠症	3
心不全	15	腰痛症	4
脳梗塞　脳梗塞後遺症	26	心房細動	4
脳出血	10	偽痛風	3
白内障	4	パーキンソン症候群	2
パーキンソン病	4	廃用症候群	3
大腸憩室	2	心肥大	2
前立腺肥大	3	貧血	2
慢性胃炎	4	甲状腺機能低下症	1
脊柱管狭窄症	5	全盲	1
喘息	4	低K血症	1
変形性膝関節症	4	脊髄小脳変性症	1
高脂血症	7	レビー小体型認知症	1
失語症	5	統合失調症	1
腎不全	4	慢性膀胱炎	1
てんかん	3	左顎下腺腫瘍	1
心筋梗塞	2	ペースメーカー術後	2
逆流性食道炎	3	鬱病	1
イレウス	3	起立性低血圧	1
変形性脊椎症	1	不定愁訴	1
構音障害	1		
乳癌術後	1		
痛風	1		

≪入所者の入退院状況≫

（H29.4.1～H30.3.31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月の入院者	4	12	14	6	7	2	8	4	4	0	2	6	69
当月の退院者	1	8	9	7	6	1	4	3	3	1	1	5	49



≪往診 の診察状況≫

（H29.4.1～H30.3.31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小林メンタルｸﾘﾆｯｸ(精神科医指導)	18	17	22	14	16	12	12	10	12	14	12	14	173
竹田耳鼻科	12	12	14	16	13	12	12	13	13	13	0	14	144
嘱託医　診察	17	60	31	21	22	35	21	24	15	24	21	27	318
嘱託医　薬受け	49	73	67	53	80	76	76	70	72	57	58	70	801
いずみが丘ｸﾘﾆｯｸ	6	3	2	2	4	4	4	3	2	2	2	2	36
光ヶ丘内科ｸﾘﾆｯｸ(往診)	4	2	8	6	4	3	7	3	5	13	1	2	58

H29年度口腔衛生管理往診

	1階	2階	3階	延べ人数	実施日数
4月	3	13	8	24	4
5月	7	10	10	27	4
6月	4	6	13	23	4
7月	5	13	13	31	4
8月	4	6	5	15	3
9月	5	8	6	19	3
10月	16	5	7	28	4
11月	12	11	5	28	4
12月	3	15	7	25	5
1月	7	17	3	27	4
2月	6	7	0	13	2
3月	6	21	6	33	4
	78	**132**	**83**	**293**	**45**

前年度に比べ実施日数は5日増。延べ人数が1名減。

2月は感染症対応の影響を受け実施日数は2日のみとなり、延べ人数も13名に留まった。

幅広く歯科医師、歯科衛生士によるケア、治療を提供することができた。

義歯調整や治療により経口摂取維持にも努めることができた。

５　栄養指導

＜行事食＞

暦の上の行事にあった食事の提供を行った。季節感を味わって頂き食事の内容に変化を持たせることで、食事に対する興味を持って頂けるよう努めた。

２９年度に実施した行事食一覧

行事食	月　日	内　　容
春まつり	４月１５日	昼食：海鮮丼、菜の花のお浸し、茶碗蒸し おやつ：ぺこちゃんのほっぺまたはカスタードプリン/不二家 飲み物：フレーバーティー
うなぎの日	６月１０日	うなぎ御膳（割子弁当）※うなぎ外注/仁王
流しそうめん	７月８日	そうめん、天ぷら、アイスクリーム （本物の竹を使用）
土用の丑	７月２５日	うなぎ丼、酢の物　※うなぎ/ゼネラルフード
夏祭り	８月　２６日	模擬店で、焼そば、鶏のから揚げ、たこ焼き、カレーライス、枝豆（家族のみ）、法蓮草のお浸し（入所者のみ）、みたらし風ゼリー（入所者のみ）、かき氷、ビール（生ビール、ノンアルコールビール）、ジュース、お茶
敬老祝賀会	９月　１５日	夕食：祝い膳(割子弁当)、水ようかん/美濃忠
秋まつり	１０月　２１日	昼食：天丼（揚げたての海老天入り）またはねぎとろ丼、法蓮草のお浸し おやつ：三色プリン（かぼちゃプリン、抹茶プリン、芋茶巾）
うなぎの日	１２月９日	ひつまぶし風うなぎ丼、白菜の和え物 ※うなぎ/ゼネラルフード
鍋の日	１月　１９日	石狩鍋
おせち料理	１月１日～３日	粥ゼリー入りの雑煮、数の子などおせち料理を提供し、正月の気分を味わって頂く
七草粥	１月　７日	七草粥
鏡開き	１月１１日	おやつ：粥ゼリー入りのおしるこ
節分 ひな祭り	２月　３日 ３月　３日	節分ちらし寿司 ひなちらし寿司
毎月誕生会	毎月第２金曜日	割子弁当、ケーキ

＜選択食＞

毎月１回（４月６月８月１０月１２月は平日、それ以外は土曜日）、昼食は主菜２種類から好きなものを選んで頂ける選択食とし､聞き取り調査は当日の朝にサンプルを実際に見ていただきながら実施した。入浴日の方には入浴前または入浴後に聞き取りするなど、全員に聞き取り調査

をできるよう努めた。

＜適温・適時＞

①適温　２階食堂についてはカウンターより対面配膳を行い、冷たい物は冷蔵庫、
温かい物はウォーマーで配膳直前まで温度管理した。
３階食堂については温冷配膳車を使用し、常に適温で食事ができるよう努めた。

②適時　できる限り家庭に近い食事時間を設定し、確実にその時間に提供できるよう努めた。

食事時間	
朝　食	８：００～
昼　食	１２：００～
夕　食	１７：３０～

＜調理技術＞

入所者、利用者の状態にあった食材料の選択、調理法の工夫、味付け、盛り付け、彩りに気を配り、栄養士、調理員にて検討を行う事によって、おいしく、愛情のこもった食事を提供できるよう努めた。

＜献立＞

入所者からの直接の声などを献立作成時に参考にした。焼きそば、炊き込みご飯などは入所者のリクエストにより、献立に用いた。

＜個別処遇＞

入所者、利用者それぞれの状態に合わせた食事形態で提供できるよう努めた。食事の様子を拝見し、変更を要する方については、介護職員・看護職員と検討しながら、食事形態の変更を実施した。又、自助具を取り入れることによって残存機能を維持し、できる限り自力で食べることの楽しみをもって頂ける環境作りに努めた。

＜食事形態別食数＞

平成２９年３月末日現在の食事形態種別は表９参照

＜検査食＞

毎食時、入所者、利用者に提供する前に数人の職員によって検食を実施した。
検食を行った職員は主食の炊き具合、盛り付け、色彩、味付け、分量などの評価と感想を検食簿に記入し、それを献立作成時に参考にした。

＜厨房内衛生管理＞

① 厨房内衛生管理
厨房内は毎日の通常清掃と業者による定期的なねずみ・害虫等防除作業行い、常に衛生的な環境を保持できるよう努めた。

② 食品衛生管理
食品が納入された時点で検収を行い、品質、温度、賞味期限等の確認を行った。

③ 機器・食器入れ替え
厨房機器は定期メンテナンスを行い、必要に応じて修理した。
また食器については、不足すると速やかに補充できるよう在庫をもち、業務に支障が出ないよう努めた。

＜職員衛生管理＞

直接食事介助する職員・パート職員を対象に、衛生管理の為の便保菌検査を年１回（８月）実施した。

又、食事介助の際には手洗いの実施を徹底した。

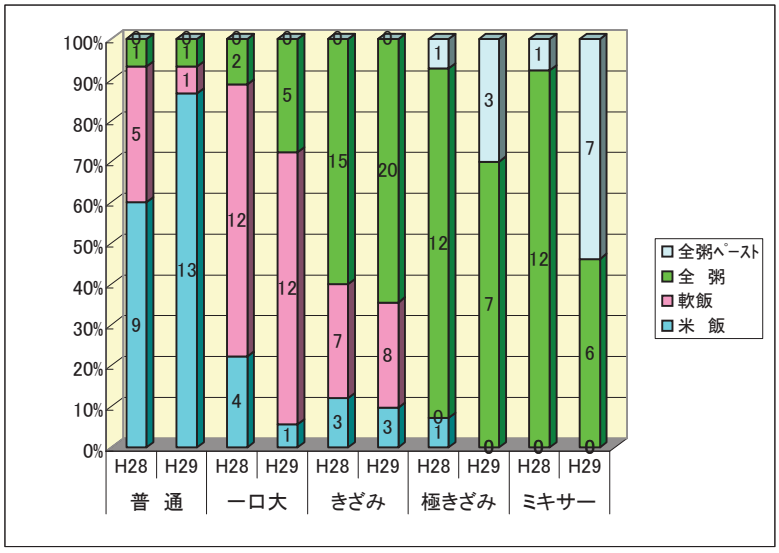
＜栄養ケアマネージメント＞

入所者の日常的な生活の営みである「口から食べること」を優先的な課題とし、単に体重や血液検査数値といった栄養指標の改善を目指すに留まることなく、適正な「栄養ケア」を提供し要介護状態の予防や重度化の予防に努めるため、多職種と共同して栄養ケアマネージメントを行った。

表9　入所者食事形態種別（前年度比較）

		副食										合計	
		普通		一口大		きざみ		極きざみ		ミキサー			
		H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29
主食	米飯	9	13	4	1	3	3	1	0	0	0	17	17
	軟飯	5	1	12	12	7	8	0	0	0	0	24	21
	全粥	1	1	2	5	15	20	12	7	12	6	42	39
	全粥ﾍﾟｰｽﾄ	0	0	0	0	0	0	1	3	1	7	2	10
合計		15	15	18	18	25	31	14	10	13	13	85	87

（平成29年3月31日昼現在）



平成29年度給食食数

区分		米飯						軟飯						全粥						特別対応			合計
		普通	一口大	きざみ	極刻み	ミキサー	計	普通	一口大	きざみ	極刻み	ミキサー	計	普通	一口大	きざみ	極刻み	ミキサー	計	胃ろう	エンジョイゼリー	計	
入所	合計	4991	988	2309	0	0	8288	2109	7885	6378	0	0	16372	375	3424	16175	9867	13072	42913	6410	1293	7703	75276
	%	7%	1%	3%	0%	0%	11%	3%	10%	8%	0%	0%	22%	0%	5%	21%	13%	17%	57%	9%	2%	10%	100%
	1日平均	14	3	7	0	0	23	6	22	18	0	0	45	1	9	44	27	36	117	210	39	249	434
ショート	合計	7494	1609	1166	208	0	10477	1001	4308	676	0	0	5985	91	986	2257	881	313	4528	985	243	1228	22218
	%	34%	7%	5%	1%	0%	47%	5%	19%	3%	0%	0%	27%	0%	4%	10%	4%	1%	20%	4%	1%	6%	100%
	1日平均	21	5	3	1	0	30	4	12	2	0	0	18	0	3	6	3	1	12	33	12	45	104
ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	合計	1371	54	176	0	0	1601	226	284	45	7	0	562	21	0	97	16	294	428	0	0	0	2591
	%	53%	2%	7%	0%	0%	61%	9%	11%	2%	0%	0%	22%	1%	0%	4%	1%	11%	17%	0%	0%	0%	100%
	1日平均	5	1	1	0	0	7	1	2	0	0	0	3	1	0	1	0	1	3	0	0	0	13

6　デイサービス

＜サービス内容の充実＞

○　９時 45 分から 17 時まで、年末年始（12/31～１/1.2.3 除く）を営業し在宅介護の必要な方に通苑していただき、ご家族の介護負担を軽減しました。

○　予防通所介護事業を行い要支援状態にある方の身体機能維持向上を支援しました。

○　口腔ケア、口腔体操、グループ別リハビリを毎日行い、ご利用者の口腔機能の維持向上、病気や転倒の予防を支援し好評を得ました。

○　通所介護計画書、予防通所介護計画書を作成し、各ご利用者にあったサービスを提供しました。

○レクリエーション活動

手芸・創作活動など希望者は作品づくりを行い、デイルームの壁等に飾りました。また、利用者一人ひとり希望されたレクリエーションを実施しました。

季節の趣に合った催しを定期に実施しました。４月、平和公園にお花見へ外出し季節を感じて頂きました。５月、子どもの時代を懐かしむイベントで楽しんで頂きました。６月、たこ焼きクッキング、７月、短冊に願い事を書いて笹に飾り付ける。８月、クリームソーダーつくり夏の思い出を語らう。９月、敬老会では、色紙に手形と記念撮影し、記念品を贈る。１０月、さつまいもを使ってクッキー作りを行いました。１１月、城山八幡宮へ秋の風景を感じる外出に出かけました。１２月、年忘れ会では、かぼちゃの白玉入りぜんざいをつくりました。１月、初詣に上野天満宮へ外出を行いました。２月、豆まきと節分にちなんだゲームを実施３月、桃の節句では、甘酒とおこしものを作りひな祭り雰囲気を味わっていただきました。

誕生日会を月ごとに実施し、バースディカード、記念写真、希望のプレゼントを贈りました。

○送迎

長時間乗車によるご利用者の疲労軽減と業務の効率、ご家族の希望を聞きながら送迎の見直しを随時実施しました。

＜利用人数の確保＞

ご利用者及び関係のケアマネジャーへパンフレットや毎月空き情報を作成し新規利用者紹介を依頼しました。**今年度、月平均 10.1 名と前年を 0.7 下回りました。**

＜デイサービスだより＞

年 3 回、デイサービスだよりを発行し、ご家族様やケアマネジャーにご利用者の状況をお知らせしました。

＜ご家族との関係＞

個人情報利用の手続きを得て利用中のレクリエーション、季節行事、外出の様子等写真を配り、活動内容をお知らせしました。ご家族のご要望に積極的に対応し又、ご利用中の変化等については迅速に連絡し対処することができました。

＜運営推進会議＞

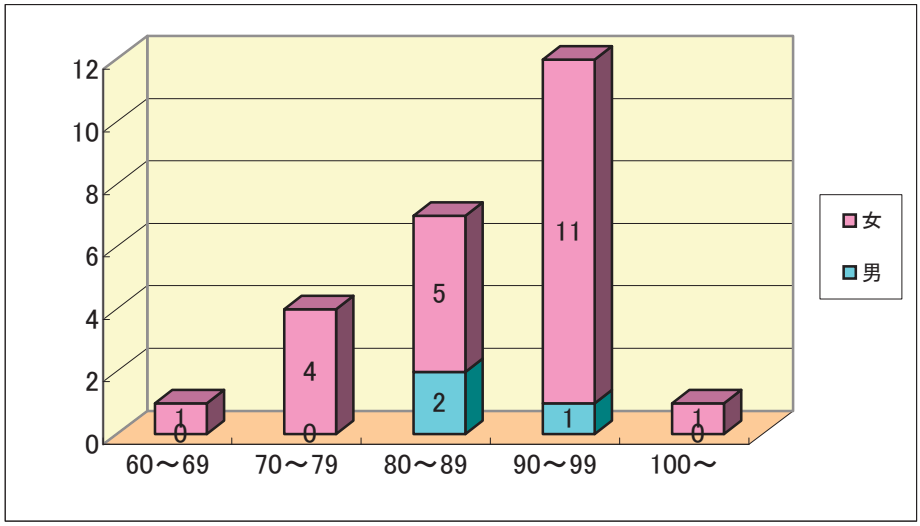
運営推進会議を開催し、ケアマネジャー・ご家族・地域代表者などから意見を伺い、サービス向上や改善に努めました。

表10　デイサービス利用状況

（平成30年3月31日　現在）

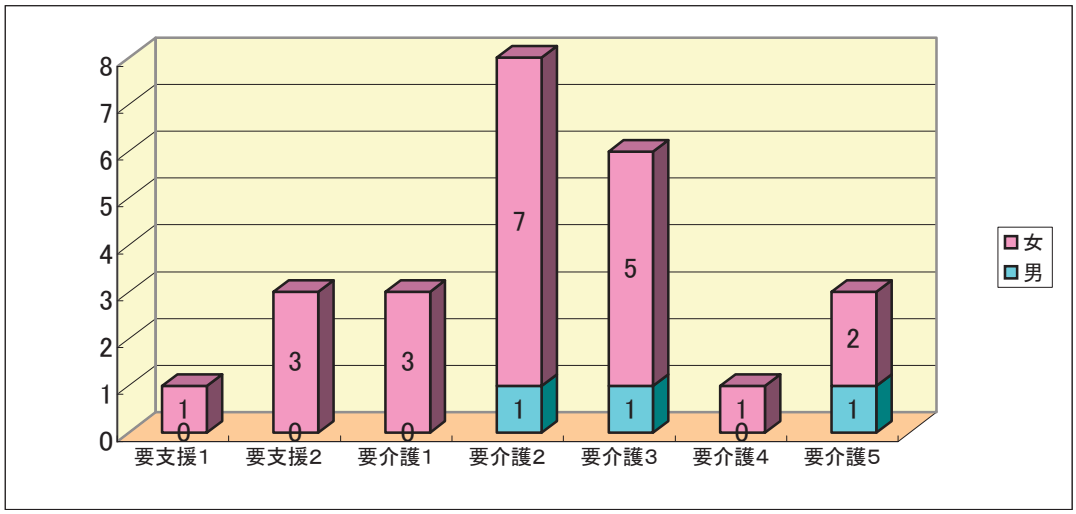
(1)年齢別利用者数

	60～69	70～79	80～89	90～99	100～	合計	平均年齢
男	0	0	2	1	0	3	85
女	1	4	5	11	1	22	85.9
全体	1	4	7	12	1	25	85.3



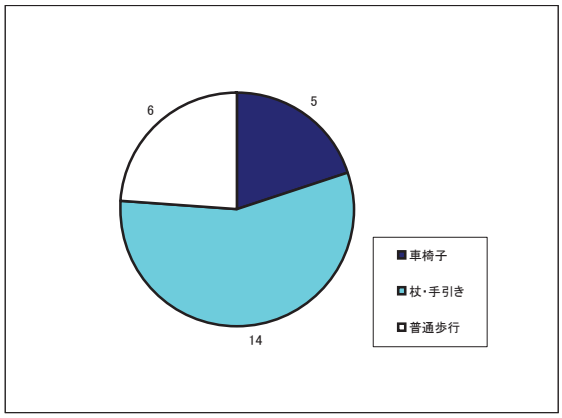
(2)介護度別利用者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男	0	0	0	1	1	0	1	3	3.50
女	1	3	3	7	5	1	2	22	2.16
計	1	3	3	8	6	1	3	25	2.50



(3)歩行ADL別利用者数

車椅子	杖・手引き	普通歩行	合計	機能訓練実施者内数
5	14	6	25	5



平成29度デイサービス介護度状況及び介護報酬金額　（延べ利用人数　）

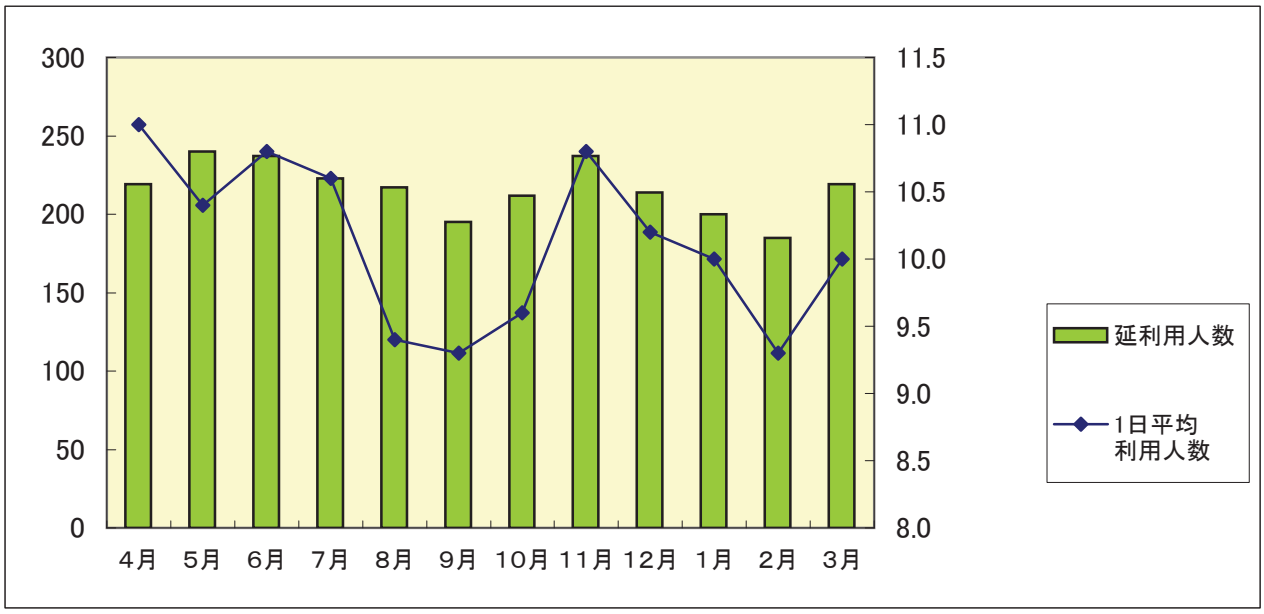
	要支援1	要支援2	介護報酬	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	介護報酬
4月	8	18	85,917	35	113	8	13	24	1,891,530
5月	9	21	86,706	37	112	14	18	29	2,056,864
6月	1	23	86,706	33	113	26	15	26	1,968,895
7月	0	25	101,181	37	100	23	12	26	1,929,688
8月	0	23	87,315	30	84	36	12	32	1,926,645
9月	0	16	70,828	24	80	33	15	27	1,786,340
10月	0	16	70,828	18	75	32	19	52	1,997,185
11月	0	18	70,828	36	70	61	0	52	2,250,524
12月	0	18	70,828	34	67	49	1	45	2,006,365
1月	2	15	88,321	28	58	51	3	43	1,948,464
2月	3	15	88,321	41	40	49	3	34	1,722,363
3月	3	19	88,321	25	64	65	4	39	2,066,565
計	26	227	996,100	378	976	447	115	429	23,551,428

平成29度デイサービス介護度状況及び平均介護度 （実利用人数）

	要支援1	要支援2	計	要支援平均介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計	平均介護度
4月	1	3	4	要支援　1.8	6	16	2	3	2	29	2.3
5月	1	3	4	1.8	5	16.5	2.5	3	2	29	2.3
6月	1	3	4	1.8	5	13	4	3	2	27	2.4
7月	0	4	4	2.0	5	13	3	3	2	26	2.4
8月	0	4	4	2.0	5	11	5	2	3	26	2.5
9月	0	3	3	2.0	4	10	5	2	3	24	2.8
10月	0	3	3	2.0	4	9	5	2	4	24	2.7
11月	0	3	3	2.0	4	9	7	0	5	25	2.9
12月	0	3	3	2.0	4	9	6	1	5	25	2.9
1月	1	3	4	1.75	3	8	6	1	5	23	2.9
2月	1	3	4	1.75	4	7	6	1	3	21	2.6
3月	1	3	4	1.75	3	8	6	1	3	21	2.7
計	6	38	44	平均　1.88	52	129.5	57.5	22	39	300	平均　2.61

表11　月別利用状況（延利用人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延利用人数	219	240	237	223	217	195	212	237	214	200	185	219	2,598	216.5
営業日数	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	20	22	257	21.4
1日平均利用人数	11.0	10.4	10.8	10.6	9.4	9.3	9.6	10.8	10.2	10.0	9.3	10.0	121	**10.1**



※行事及びレクリエーション実績

月	行事及びレクリエーション	内　　容
4月	花見外出	車で平和公園へ外出し、桜の花を景観・記念撮影
5月	端午の節句	茶話会にて子ども時代懐かしむ
6月	クッキング	本格的なたこ焼きを調理し召し上がる。
7月	七夕会	短冊に願い事をかいて笹に飾りつけを行う
8月	夏を楽しむ会	クリームソーダ作りをつくり夏の思い出を語らう
9月	敬老会	茶話会形式で歓談　バルーンアート
10月	秋のクッキング	さつまいもを使用し、クッキー作りを実施
11月	紅葉外出	車で城山八幡宮へ外出し季節を感じる見学を実施
12月	冬至の会	かぼちゃ入り白玉団子ぜんざいを調理
1月	初詣外出	初詣外出（上野天満宮）
2月	節分	節分にちなんだゲーム豆まきを実施
3月	桃の節句	おこしもの、甘酒を調理し懐かしむ

※誕生日会　バースデーカードに写真入りと、花、マフラー、靴下等、希望に沿ってプレゼントを実施